Panasonic

取扱説明書

パーソナルMDシステム

品番　RX-MDX83

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用前に**「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。**

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

MDLP

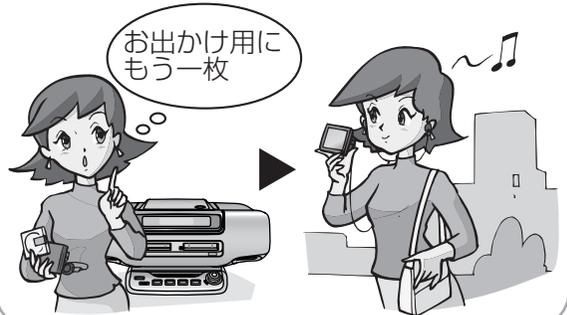
保証書別添付

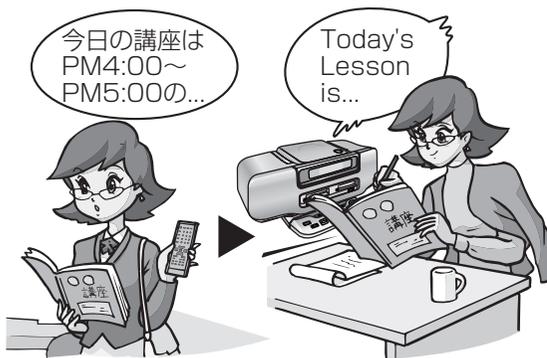
RQTX0168-1S

すばやくMDに録音 ☞30ページ

高速録音を使えば、短時間で録音できます。

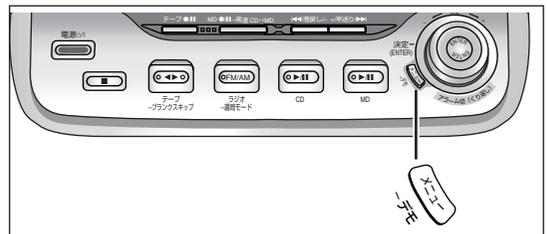
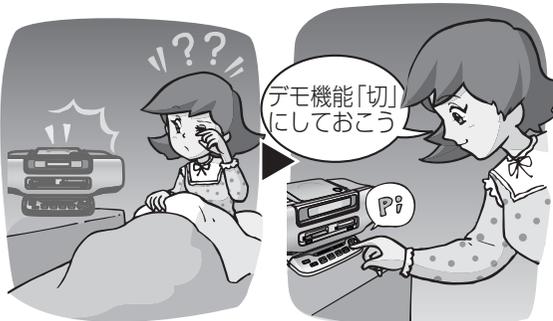
大好きなMDをもう一枚 ☞48ページ

ポータブルMDから本機のMDに録音できます。

ラジオ講座も忘れず録音 ☞45ページ

予約した時間に録音できる“留守録タイマー”が便利です。

車でMDを再生 ☞24ページ

カーオーディオが MD**LP** に対応しているかご確認ください。

電源「切」時の表示部の変化について

電源を切っても、表示部が自動的に点灯して変化します。**(デモ機能)**

デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“デモ OFF”と表示するまで押したままにする

デモ OFF

上記操作をするたびに
デモ OFF(切) ⇄ デモ ON(入)

本機の時計を合わせる(➡ 42ページ)と、デモ機能は自動的に「切」になります。

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
(4〜6ページ)

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやテープは、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の通気孔をふさがないでください。

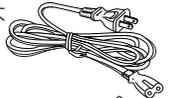
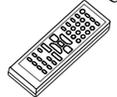
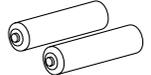
ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

付属品の確認

付属品をご確認ください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

☐ AM ループアンテナ.......1本
（品番 G0ZZ00002036）

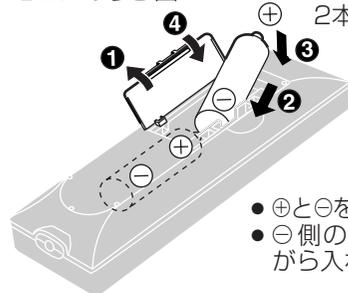
☐ 電源コード.....................1本
（品番 RJA0012-1A）

☐ リモコン.........................1コ
（品番 EUR7710080）

☐ リモコン用単3形乾電池....2本

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。カッコ(　　)内は、買い替え時の品番です。
- 品番は、2008年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

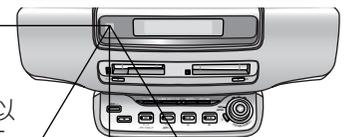
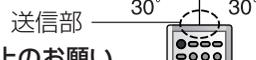
付属品と別売品（➡ 48、50ページ）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp

リモコンの準備

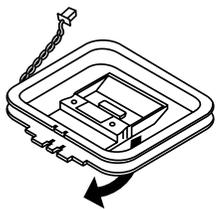
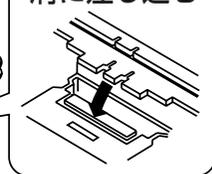
乾電池（付属）の入れ方

リモコンのうら面　単3形乾電池2本（付属）

- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使い方

■ 使用上のお願い
- 受信部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意。

接続と設置

家庭用コンセントで使います。電池では使えません。

AM ループアンテナ（付属）の組み立てと接続

溝に差し込む

カチッ！

AM ループアンテナを外すには
AM ループアンテナのコードをゆっくりと引っ張る。

FM ホイップアンテナ

AC IN～

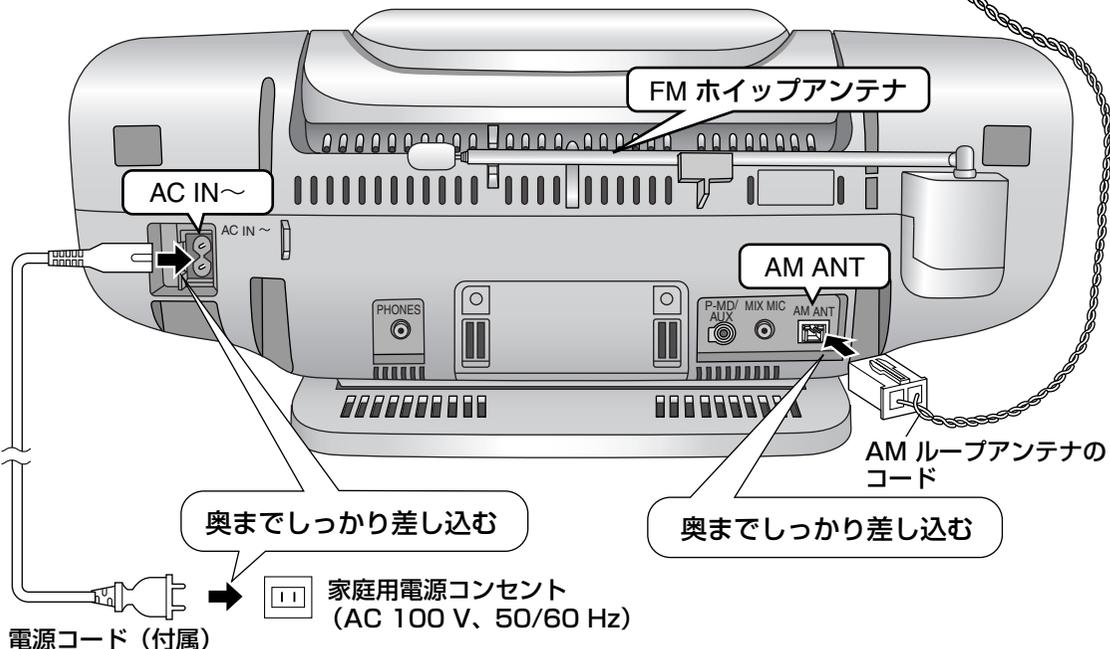
AM ANT

AM ループアンテナのコード

奥までしっかり差し込む

奥までしっかり差し込む

家庭用電源コンセント
（AC 100 V、50/60 Hz）

電源コード（付属）

本機を設置する

本機を聞きやすく、表示が見やすい位置にします。

- 本機の向きを上方向（約15°）に調節できます。
- オペレーションステージは本機に連動して傾きます。

本機の角度を調節するには

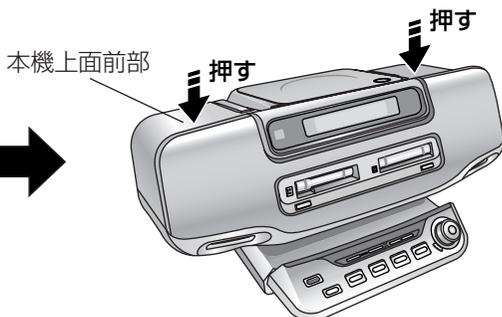
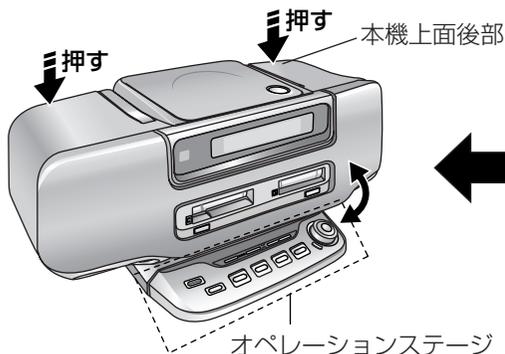
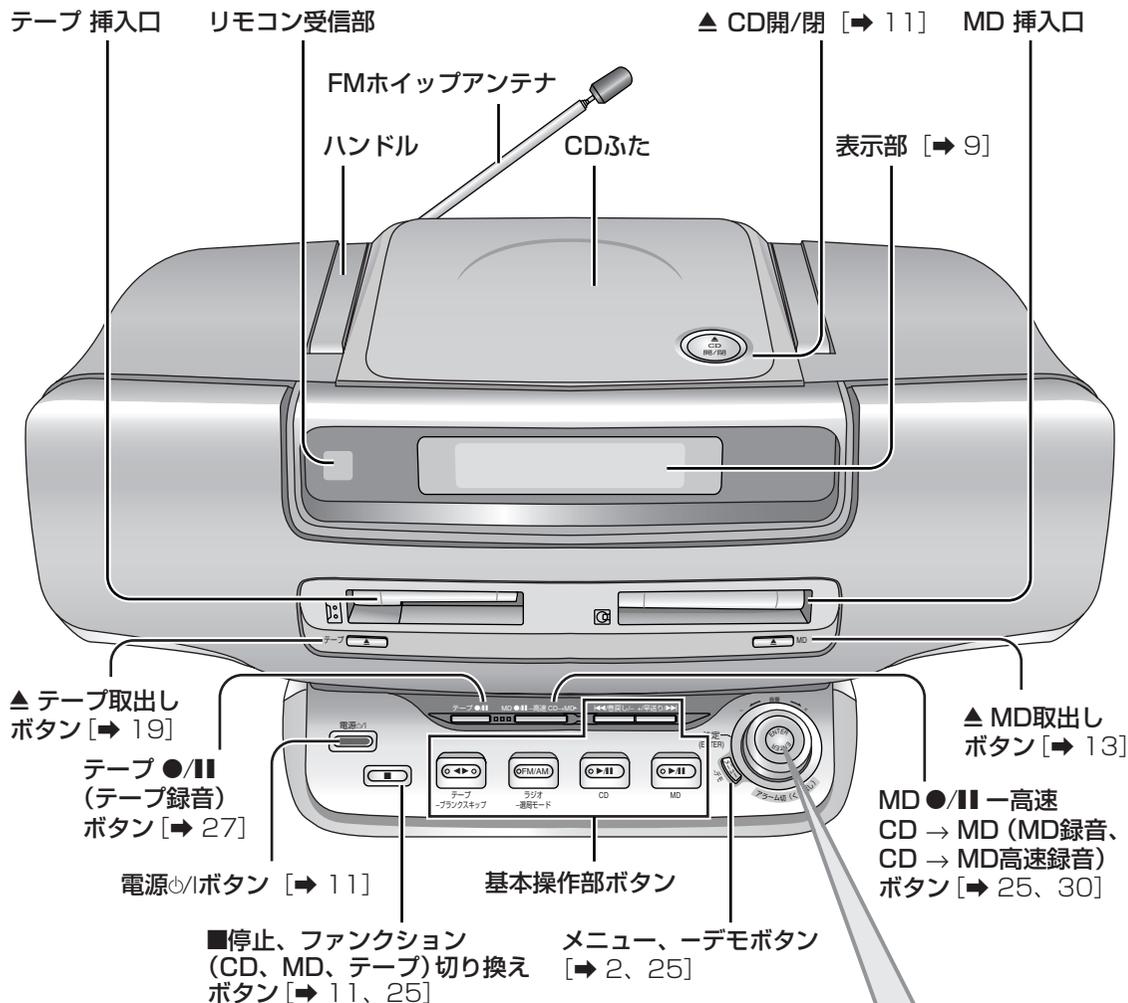
両手で本機上面（後部または前部）をゆっくりと押してください。
調節時にオペレーションステージ付近に手をおかれますと指などをはさむ恐れがあります。

お願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

各部のなまえ

[➡ 11] などの数字は参照ページです。

本体

マルチJOG(ジョグ)の使い方

本機のマルチJOGには、2種類の操作方法があります。
2種類の操作は、それぞれ下記の場合に使用します。

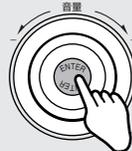
左右に回す
- メニューの内容を選ぶ
- 音量を調節する

[決定 (ENTER)] を押す
- メニューで選んだ内容を決定する

メニュー選択時は音量を調節できません。
音量を調節するときは、[■] を押して、メニューを解除してください。

本書では、マルチJOGの使いかたを、次のようにイラストで表しています。

左右に回す

[決定 (ENTER)]を押す

①左右に回して
②[決定 (ENTER)]を押す

表示部

リモコン

スリープ、–オートオフボタン [➡ 46]

電源ボタン

文字入力/切替ボタン [➡ 38、41]

決定ボタン

タイトルサーチボタン [➡ 15]

削除、プログラムクリアーボタン [➡ 16、41]

音量−、+ボタン

P-MD/AUX（ポータブルMD/外部入力切り換え）ボタン [➡ 49]

−/⏮ 巻戻し/ 、⏭/+ /早送りボタン [➡ 15、23]

ライブバーチャライザーボタン [➡ 47]

音質ボタン [➡ 47]

タイマー設定/確認ボタン [➡ 43]

表示切替ボタン [➡ 11、47]

1 〜 0、≧10（数字）文字入力ボタン [➡ 11、41]

基本操作部ボタン

スキャン、グループボタン [➡ 15]

プレイモード（再生/受信モード）ボタン [➡ 14、21、27]

⏮、⏭、∨ グループ ∧ ボタン [➡ 14]

左右バランスボタン [➡ 47]

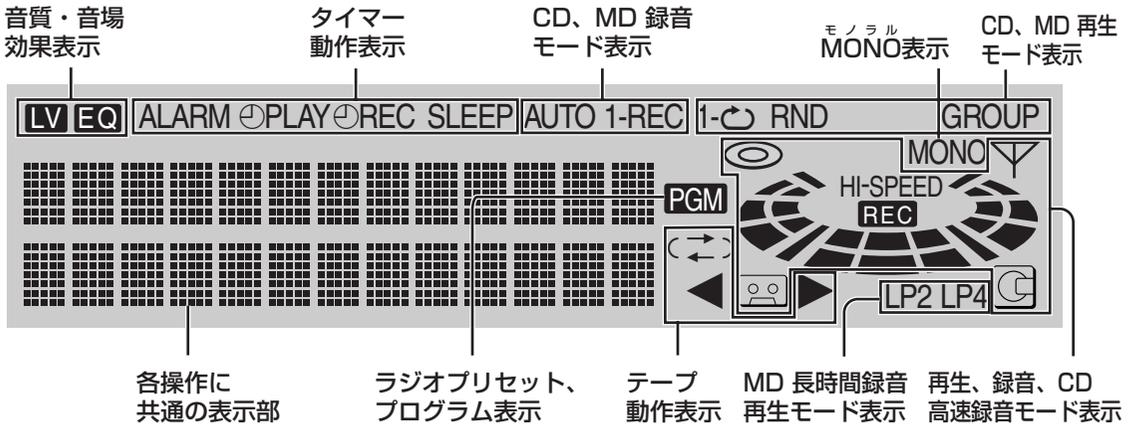
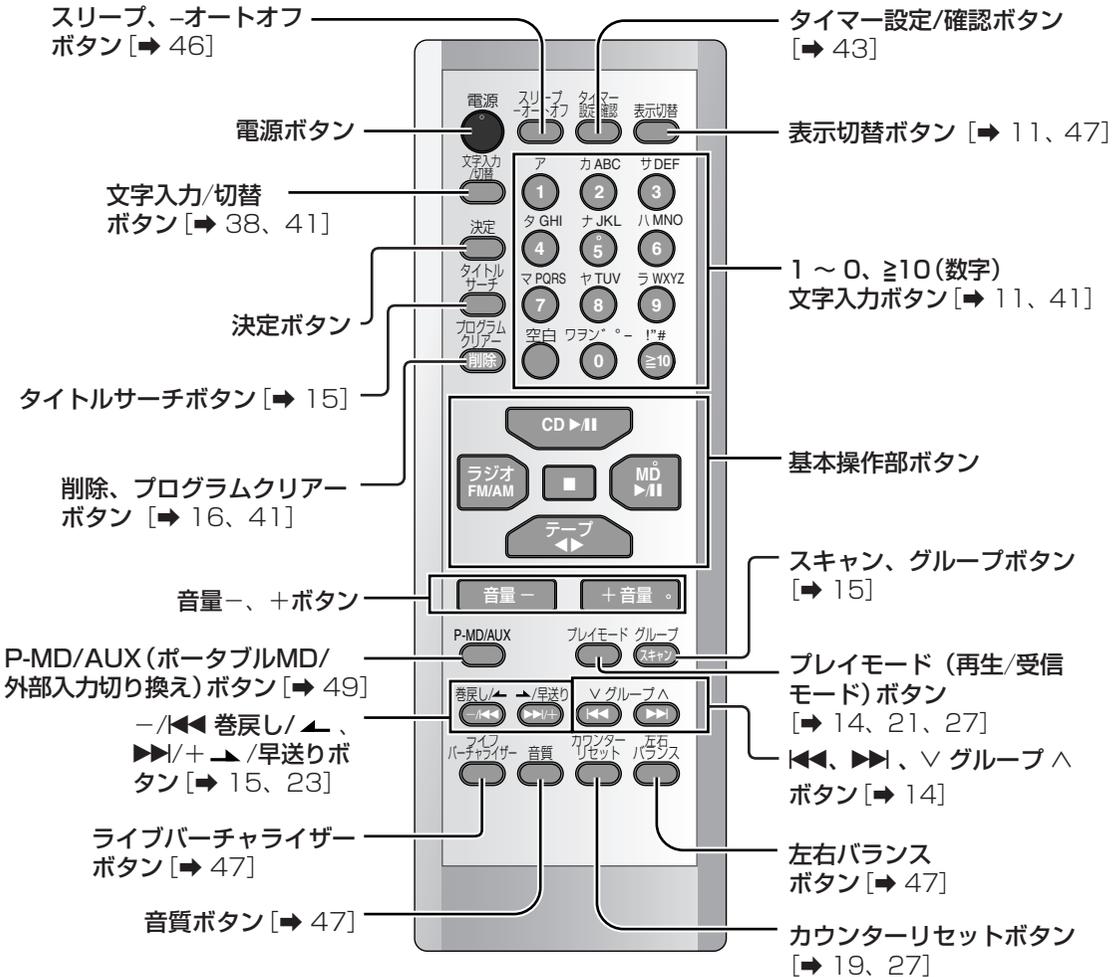
カウンターリセットボタン [➡ 19、27]

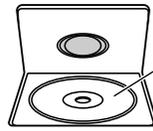
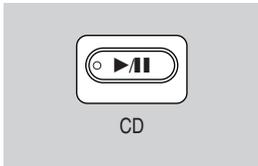
各部のなまえ

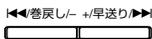
確認と準備

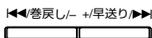
● マルチJOGの使い方

CDを聞く

はじめて CD を使用する場合は、52ページ「CD について」をお読みください。

1 押して
電源を入れる

2 ①押してCDふたを開け
CDを入れる
②ふたを閉じる

3 **押す**
1曲目から再生します。

途中で止める
押す
停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。

一時停止する
押す
再開するには、もう一度押す。

曲を前後にとび越す（スキップ）
⏮/巻戻し/– +/早送り/⏭ **押す**

早送り/早戻しする（サーチ）
再生中または一時停止中に
押したままにする

好みの曲から聞く
リモコン
押す
曲番10以上を選ぶには（例：24）
残り時間などの情報を見る
リモコン
表示切替 **押す**
押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

CDを取り出す
停止中に
押す
CDふたが開きます。

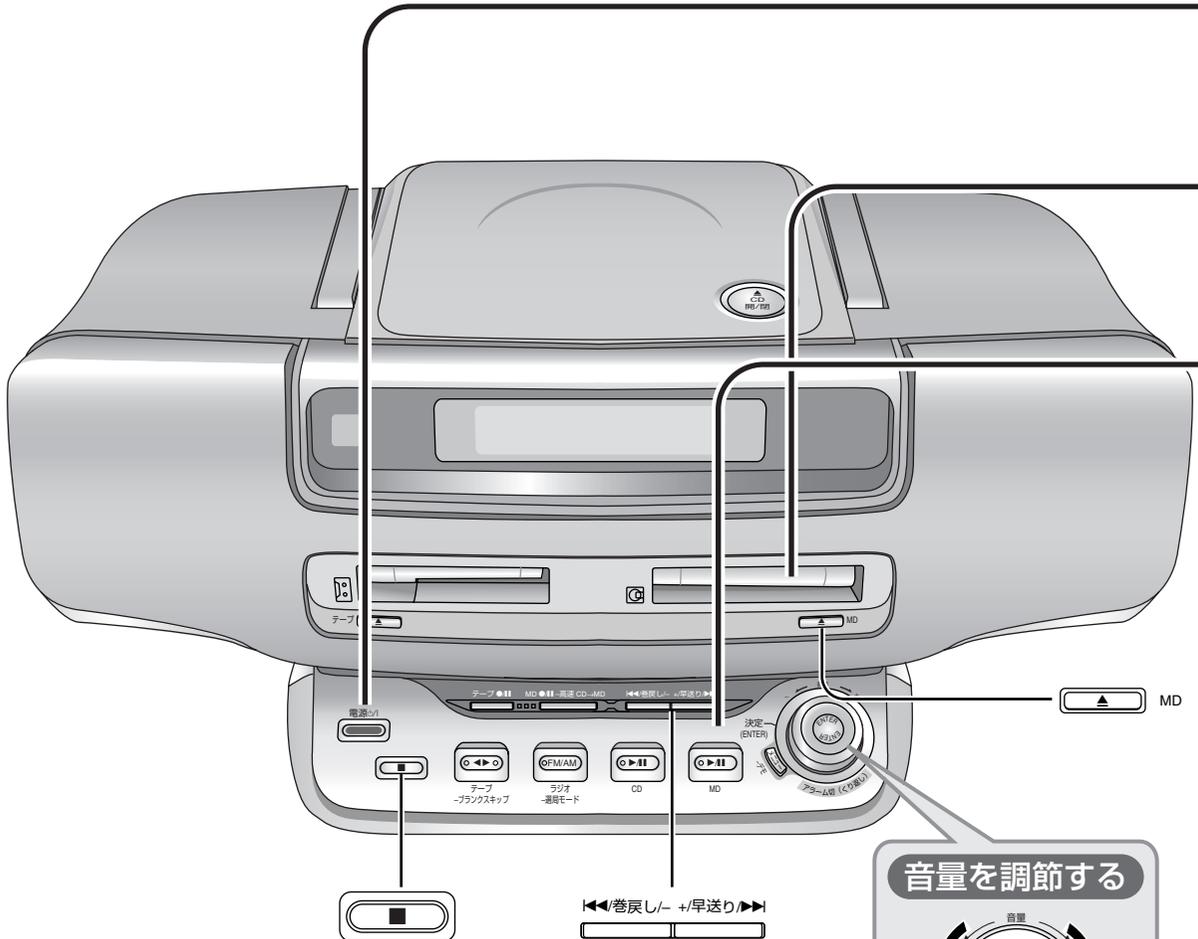
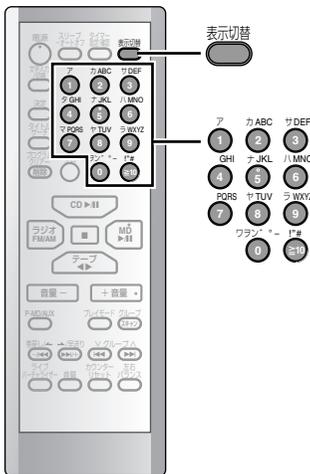
お願い

- **CDを入れてCDふたを閉めた直後や、再生中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。**
- CDふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

お知らせ

すでにCDが入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。

MDを聞く

はじめてMDを使用する場合は、51ページ「MDについて」をお読みください。

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

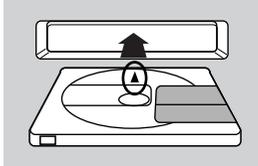
MD**LP** は音声圧縮技術によって長時間（2倍または4倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（LP モード OFF/LP2/LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。

- 標準時間録音モード（LP モード OFF）で録音した曲のとき：　表示なし
- 2倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：　"LP2"
- 4倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：　"LP4"

MD**LP** で録音するには（➡ 24 ページ）

1

押して
電源を入れる

2

録音済みMDを入れる
MDを押し込むと自動的に引き込まれます。

3

押す
1曲目から再生します。

途中で止める	**押す** 停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。 MD 14 68 : 25 総曲数 総再生時間
一時停止する	MD **押す** 再開するには、もう一度押す。
曲を前後にとび越す（スキップ）	⏮/巻戻し/– +/早送り/⏭ **押す**
早送り/早戻しする（サーチ）	⏮/巻戻し/– +/早送り/⏭ 再生中または一時停止中に**押したままにする**
好みの曲から聞く リモコン	**押す** ● 曲番10以上を選ぶには（例：24） ≧10→2→4 ● 曲番100以上を選ぶには（例：235） ≧10→≧10→2→3→5
残り時間などの情報を見る リモコン	表示切替 **押す** 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。
MDを取り出す	▲ MD **押す**

お知らせ

● 他の機器で長時間モノラル録音したMDの曲を、本機で再生すると“MONO”が点灯します。

MD 1 1 : 58 MONO

● すでにMDが入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。

共通の準備

■ **押して"MD"を選ぶ。**

グループで聞く（グループ再生）

まず、曲をグループにまとめます。(➡ 34ページ)

1つのグループだけ聞く: グループ サイセイ
1つのグループをくり返す: グループ リピート

1 プレイモード **停止中に押して"グループ サイセイ"または"グループ リピート"を選ぶ**

GROUP
グ゛ルーフ゜ サイセイ

GROUP
グ゛ルーフ゜ リヒ゜ート

OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート
↑　　　　　　　　　　　　↓
グループ リピート ← グループ サイセイ ← ランダム：RND

- プログラム設定中は、"グループ サイセイ"、"グループ リピート"を選べません。
- "グループ サイセイ"と"グループ リピート"はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 ∨ グループ ∧ **押してグループを選ぶ**

3 MD ▶/II **押す**
再生が始まります。

グループ再生

解除する
停止中に、[プレイモード]を押して"OFF"を選ぶ。

グループを前後にとび越す（グループスキップ）
[|◀◀ ∨ グループ]または[▶▶| グループ ∧]を押して、聞きたいグループを選ぶ。

タイトルで曲を探して聞く(タイトルサーチ)

検索に使えるのは、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。(最大13文字まで)

1

停止中に押す

タイトル サーチ

タイトル入力画面になります。

2

タイトルを入力する(➡ 41ページ)
大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので正確に入力します。

例:「ナツ　ベスト」

ナツ ベスト

正確なタイトルがわからないときは、1文字からでも検索できます。

3

押す
検索が始まります。

タイトル サーチ

該当する曲が見つかると

トラック　12
ナツ ベスト

さらに曲を探すとき

押す
前または次の候補の曲を検索します。

押す
検索した曲から再生します。

イントロで曲を探して聞く(グループスキャン)

各グループの先頭曲を約10秒間順番に再生します。

停止中に押す
先頭曲の再生が始まります。
MDをグループ編集していないときは"グループガアリマセン"と表示し、元の表示に戻ります。

グ゛ループ゜ スキャン

2

押す
スキャンしている位置から再生します。

タイトルサーチ

途中で解除する
[■] を押す。

お知らせ

- 検索できるのはタイトルの先頭から31文字目までです。
- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルは、[削除、プログラムクリアー] を押して消し、新しいタイトルを入力します。
- プログラム、ランダム再生設定中(➡ 16、17ページ)は"エラー"が表示され、タイトルサーチできません。

グループスキャン

途中で解除する
[■] を押す。

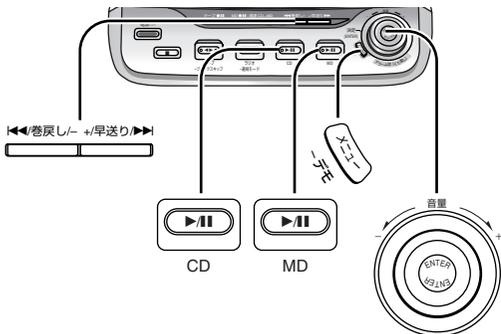
前後のグループのイントロを聞く
[◀◀ ∨ グループ] または [▶▶| グループ ∧] を押す。

お知らせ

プログラム、ランダム再生設定中(➡ 16、17ページ)は"エラー"が表示され、スキャンできません。

CD/MDの聞きかた

共通の準備

[■] 押して“CD”または“MD”を選ぶ。

好みの曲を予約順に聞く（プログラム再生）

最大24曲まで予約できます。

1 [プログラムクリアー 削除] **停止中に押す**
例：MD

2 **押して曲番を選ぶ**

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

3 [CD ▶/II] **または** [MD ▶/II] **押す**

予約曲を順に再生し、自動停止します。

プログラム再生

途中で止める
[■] を押す。（予約内容は保持されます）

解除する
停止中に、[削除、プログラムクリアー] を押す。
- ディスクを取り出したときも解除されます。
- CDでは、停電、電源プラグを外したときも解除されます。

予約内容を確認する
停止中に、[–/◀◀ 巻戻し/◢] また [▶▶|/+ ◣ / 早送り] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

予約を追加する
“プログラム：PGM” と表示している停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約の途中で
- **“コレイジョウ ヨヤクフカ” と表示したら**
  予約曲数が 24曲を超えたことを示しています。これ以上は予約できません。
- **“– – ： – –” と表示したら**
  予約時間が250分に達したことを示しています。ただし、続けて予約できます。

お知らせ
CDでのサーチは、再生中の曲の中のみです。

再生をくり返す（リピート再生）

1曲をくり返す：1 キョク リピート
全曲をくり返す：ゼンキョク リピート

1

プレイモード **停止中に押して“1キョク リピート”または“ゼンキョク リピート”を選ぶ**

例：MD

1曲
MD　10　46 : 32
1ｷｮｸ ﾘﾋﾟｰﾄ

全曲
MD　10　46 : 32
ｾﾞﾝｷｮｸ ﾘﾋﾟｰﾄ

OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート
（1-）　（）
グループ リピート ← グループ サイセイ ← ランダム：RND

● “グループ サイセイ”と“グループ リピート”はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2

1曲をくり返す

押して曲番を選ぶ
再生が始まります。
曲番10/100以上を選ぶには
（➡ 左ページ手順 2）

全曲をくり返す

CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚

押す
再生が始まります。

リピート再生

解除する
［プレイモード］を押して“OFF”を選ぶ。

再生中でも操作できます
再生中に、手順 1 の操作をする。
1キョク リピートでは、聞いている曲がくり返し再生されます。

好みの数曲をくり返すには（プログラムリピート）
①プログラム再生で再生を始める。（➡ 左ページ）
②［プレイモード］を押して“ゼンキョク リピート”を選ぶ。

本機で操作する

①［メニュー、ーデモ］を押す。
②マルチJOGを回して“プレイモード”を選び、［決定（ENTER）］を押す。
③マルチJOGを回して“1キョク リピート”または“ゼンキョク リピート”を選び、［決定（ENTER）］を押す。
④1曲をくり返す場合のみ：［⏮/巻戻し/−］または［+/早送り/⏭］（1キョク リピート）を押して曲番を選ぶ。
⑤［▶/❚❚ CD］または［▶/❚❚ MD］を押す。
再生中に行う場合は、手順④、⑤は不要です。

解除する
上記手順①〜②の後、手順③で“OFF”を選び、［決定（ENTER）］を押す。

順不同に聞く（ランダム再生）

各曲を1回ずつ順不同に再生します。

1

プレイモード **停止中に押して“ランダム：RND”を選ぶ**

例：MD

RND
MD　10　46 : 32
ﾗﾝﾀﾞﾑ：RND

OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート
グループ リピート ← グループ サイセイ ← ランダム：RND

● “グループ サイセイ”と“グループ リピート”はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2

CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚

押す
再生が始まります。

ランダム再生

解除する
停止中に、［プレイモード］を押して“OFF”を選ぶ。

お知らせ

● ランダム再生中は、前の曲にスキップできません。
● サーチは、再生中の曲の中のみです。
● プログラム再生と同時にはできません。
● ランダム再生中は、リピート再生はできません。

本機で操作する

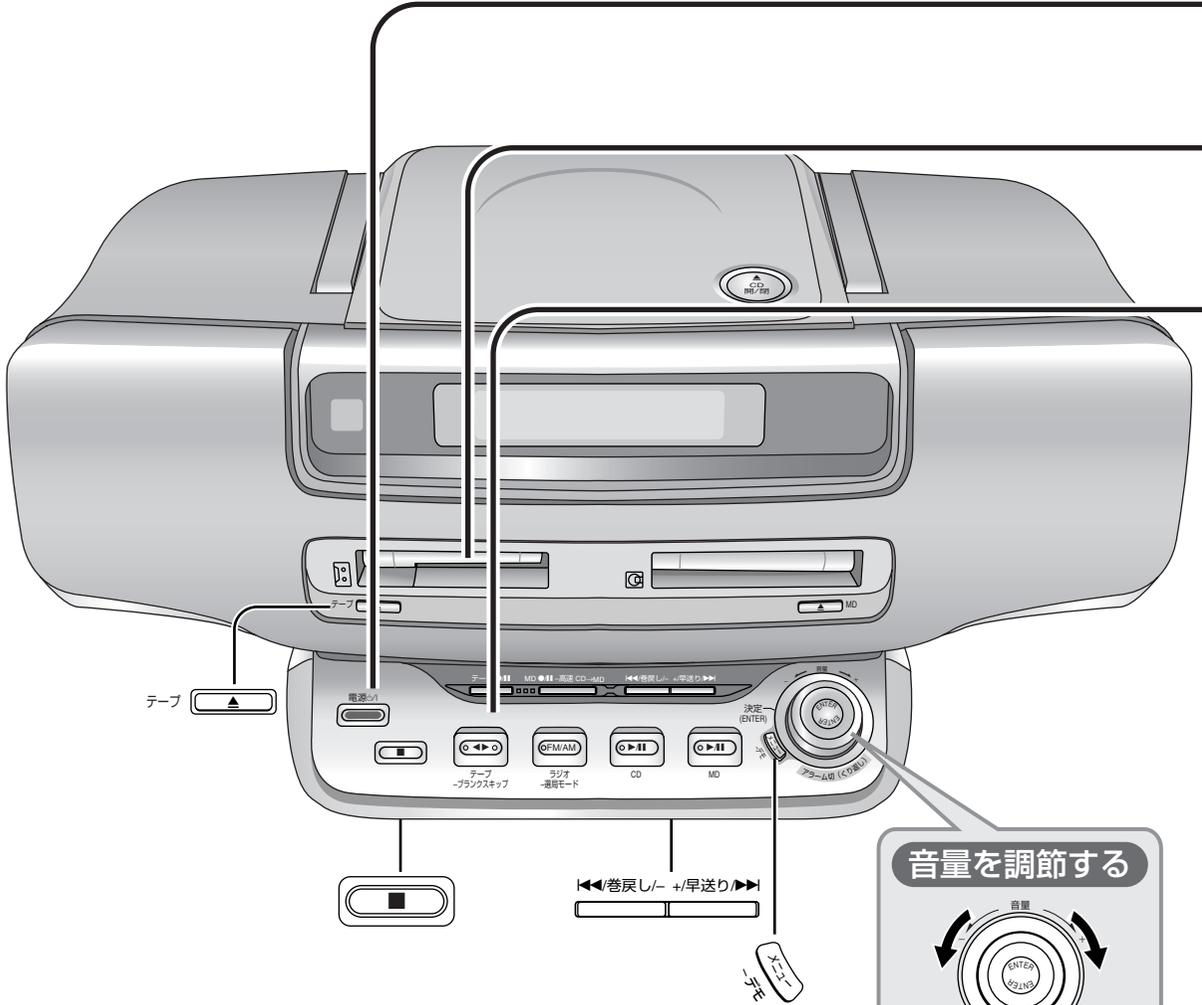
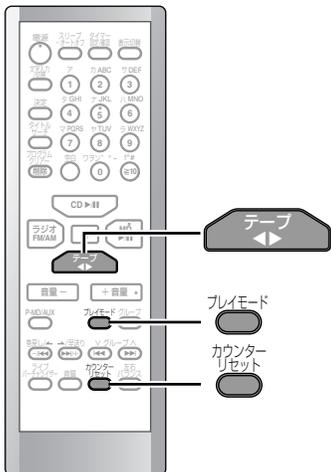
①停止中に［メニュー、ーデモ］を押す。
②マルチJOGを回して“プレイ モード”を選び、［決定（ENTER）］を押す。
③マルチJOGを回して“ランダム：RND”を選び、［決定（ENTER）］を押す。
④［▶/❚❚ CD］または［▶/❚❚ MD］を押す。

解除する
停止中に、上記手順①〜②の後、手順③で“OFF”を選び、［決定（ENTER）］を押す。

テープを聞く

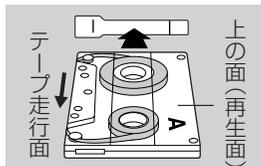
はじめてテープを使用する場合は、52ページ「テープについて」をお読みください。

再生できるテープ（テープの種類は自動的に判別されます）

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタル ポジション）	○

準備
テープのたるみを取る。

1

押して
電源を入れる

2

テープを入れる
- 必ず電源を入れてからテープを挿入してください。
- テープの再生面は自動的に上の面 "▶" になります。

3

テープ
–ブランクスキップ

押す
再生が始まります。
▶：上の面から再生
◀：下の面から再生

途中で止める
■ **押す**

再生モードを選ぶ
リモコン

プレイモード **押す**
押すたびに
⇄（カタメン）：
片面だけ再生して自動停止
⇄)（リョウメン）：
上の面 → 下の面を再生して自動停止
(⇄)（リョウメン クリカエシ）：
両面をくり返し再生

早送り/巻戻しする
|◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶| 停止中に **押す**

テープカウンターをリセットする
リモコン

カウンターリセット **押す**

テープを取り出す
テープ ▲ **押す**

曲を前後にとび越す（Tape Program Sensor-TPS機能）
|◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶| 再生中に
押す（とび越す曲数分）
（次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能）

聞いている曲の頭 再生位置
表示 –9 –2 –1 +1 +2 +9
8曲目 前の曲 次の曲 2曲目 9曲目

曲間（無音部）をとばして聞く（ブランクスキップ）
テープ
–ブランクスキップ
"ブランクスキップON" と表示されるまで
押したままにする

ブランクスキップ ON

または

リモコン

上記操作をするたびに
ブランクスキップON⟷ブランクスキップOFF（解除）

本機で再生モードを選ぶ
① ［メニュー、ーデモ］を押す。
② マルチJOGを回して、"プレイ モード" を選び、［決定（ENTER）］を押す。
③ マルチJOGを回して、"カタメン"、"リョウメン" または "リョウメン クリカエシ" を選び、［決定（ENTER）］を押す。

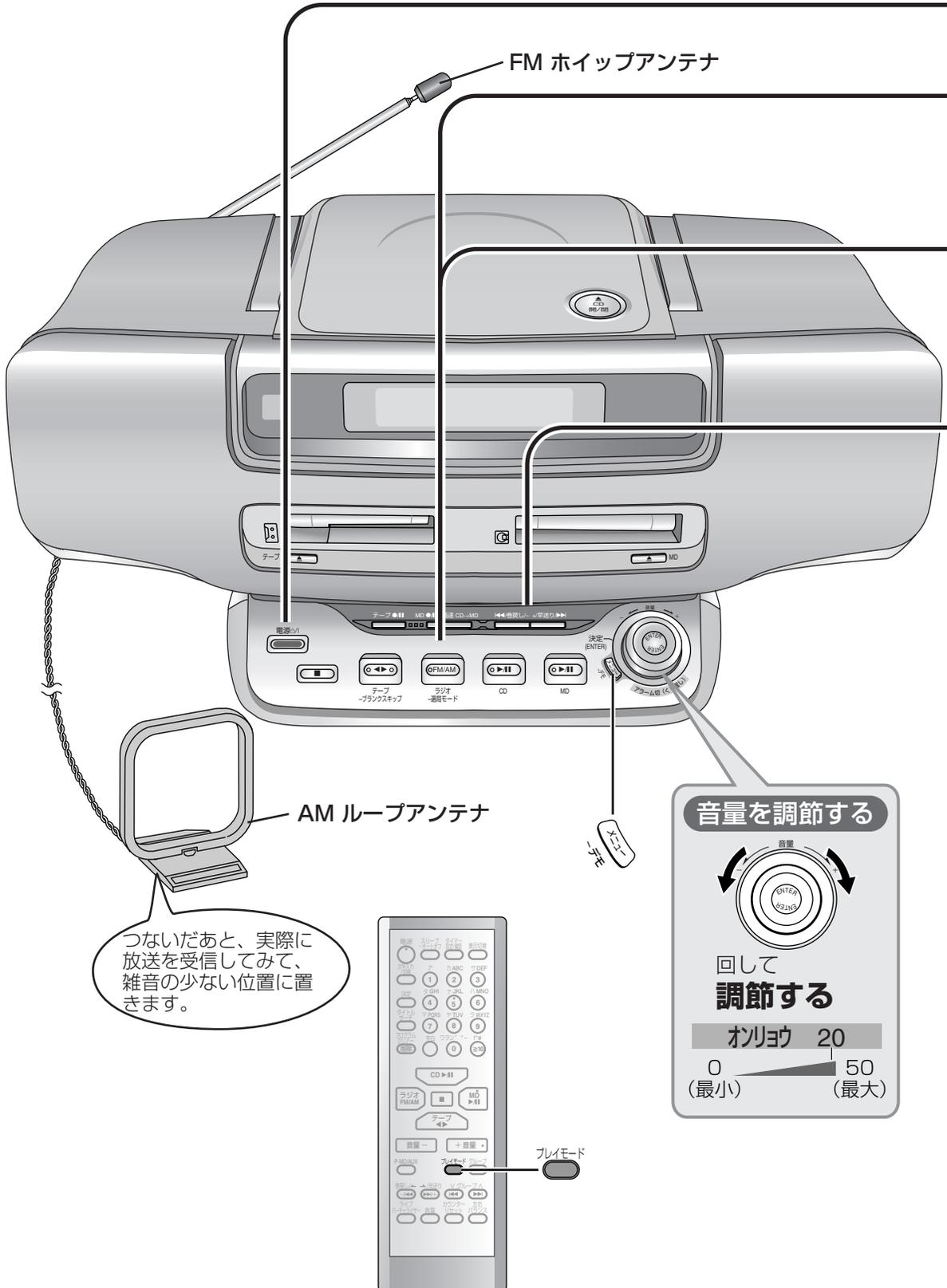
お知らせ

TPS機能：
TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

ブランクスキップ機能：
再生中、約8秒以上の無音状態が続くとテープを早送りにして次の曲の頭から再生します。
- 曲間に雑音があるとき、曲中に無音に近い部分があるときには、正しく動作しないことがあります。
- テープ両面のくり返し再生モードでのブランクスキップは往復8回で停止します。
- 全体が無音のブランクテープではブランクスキップしません。
- ブランクスキップ再生中にMD録音をするとブランクスキップは解除されます。

すでにテープが入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で再生が始まります。

ラジオを聞く

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

準備 AMループアンテナを接続する。(➡ 7ページ)
テレビ音声(1〜3チャンネルのみ)はFMで受信します。

1

押して
電源を入れる

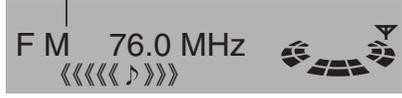
2

押して
"FM"または"AM"を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

F M 76.0 MHz

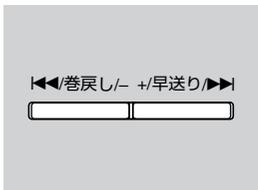
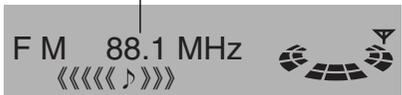
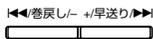
3

ラジオ –選局モード

押したままにして
"マニュアル センキョク"を選ぶ

上記操作をするたびに マニュアル センキョク:周波数で選ぶとき
↕
プリセット センキョク:地域選択などで記憶させたチャンネルを選ぶとき

4

押して
周波数を合わせる

周波数

テレビの受信位置は:
FM 76.0 MHz ←------→ FM 90.0 MHz
TV 3ch ⟷ TV 2ch ⟷ TV 1ch

自動選局する	⏮/巻戻し/– +/早送り/⏭ マニュアル センキョク時に周波数が動き始めるまで **押したままにして、動き始めたら指を離す** ジドウ センキョク ● 放送を受信すると、自動停止します。 ● 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。
FMステレオ放送で雑音が多いときは リモコン	プレイモード **押して 受信モードを選ぶ** 押すたびに モノラル:MONO ⇄ ジドウ ステレオ (強制モノラル) (自動判別) F M 88.1 MHz MONO モノラル:MONO ● モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。(FM 76.0〜90.0 MHz 受信時のみ) ● 通常は"MONO"を消灯させておいてください。

FMの受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、FMホイップアンテナの長さと向きを調節します。

本機で受信モードを選ぶ

① [メニュー、−デモ] を押す。
② マルチJOGを回して"プレイ モード"を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ マルチJOGを回して"ジドウ ステレオ"または"モノラル:MONO"を選び、[決定 (ENTER)] を押す。

AMの受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、AMループアンテナの位置と向きを調節します。

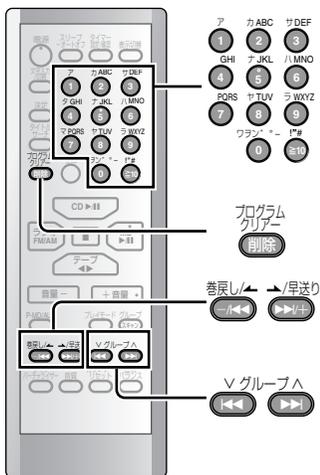
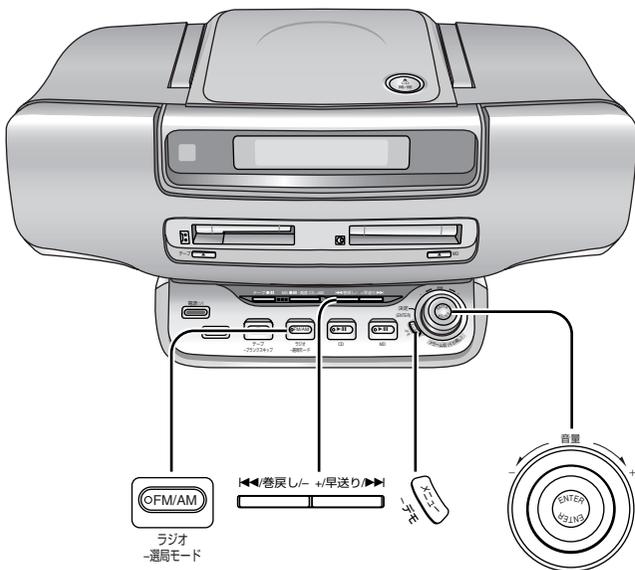
お知らせ

● AM とテレビの音声はモノラルです。
● 本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しているため、2または3chにFM放送が混信することがあります。
● AM 受信中にテープを取り出したり、テープの録音操作(録音、停止や一時停止)を行うと音がとぎれます。

放送局を記憶させて聞く

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AMとも、12局ずつ記憶させることができます。

共通の準備

押して
“FM”または“AM”を選ぶ
地域選択では、FM、AMどちらを選んでいてもかまいません。

記憶させる

お住まいの地域を選択する（地域選択）

エリアバンクの中から地域番号を選択するだけで、その地域で受信できる主なFM、AMの放送局を一度に記憶できます。

押す

① **回して“チイキ センタク”を選び**

FM　76.0 MHz
チイキ センタク

② **［決定（ENTER）］を押す**

11　トウキョウケン　PGM

③ **回して地域番号（➡ 下記）を選び**

1　サッポロ　PGM

④ **［決定（ENTER）］を押す**
エリアに記憶されている最初の周波数と放送局名が表示されます。

FM　80.4 MHz PGM
AIR-G’

地域選択

お知らせ

地域選択で放送局を記憶させた後は、自動的に“プリセット センキョク”（“ PGM ”が点灯）になります。（➡ 21ページ）

エリアバンク（2008年7月現在）

地域番号	地域名	地域番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）
2	青森	12	甲府
3	秋田	13	松本
4	盛岡	14	静岡
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）
6	仙台	16	津
7	福島	17	新潟
8	宇都宮	18	富山
9	水戸	19	金沢
10	前橋	20	福井

好みの放送局を記憶する（マニュアルメモリー）

リモコン

たとえば、地域選択後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶させることができます。

押して
周波数を合わせる

2

押す

F M　80.2 MHz PGM
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　ch –

3

10秒以内
押して
チャンネルを選ぶ

F M　80.2 MHz PGM
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　ch 7

チャンネル10 以上を選ぶには
（例：12）

≧10 → 1 → 2

続けて記憶させるときは、
手順 1 に戻る

記憶させた放送局を聞く

本機で操作する

|◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶|

プリセット センキョク
（➡ 21ページ）時に
押して
チャンネルを選ぶ

F M　80.2 MHz PGM
ch 7

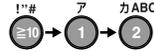
リモコンで操作する

押して
チャンネルを選ぶ

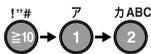
または

F M　80.2 MHz PGM
ch 7

チャンネル10 以上を選ぶには
（例：12）

≧10 → 1 → 2

記憶させた放送局を聞く

お知らせ

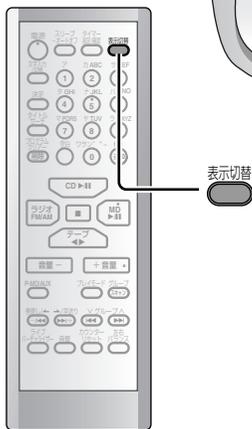
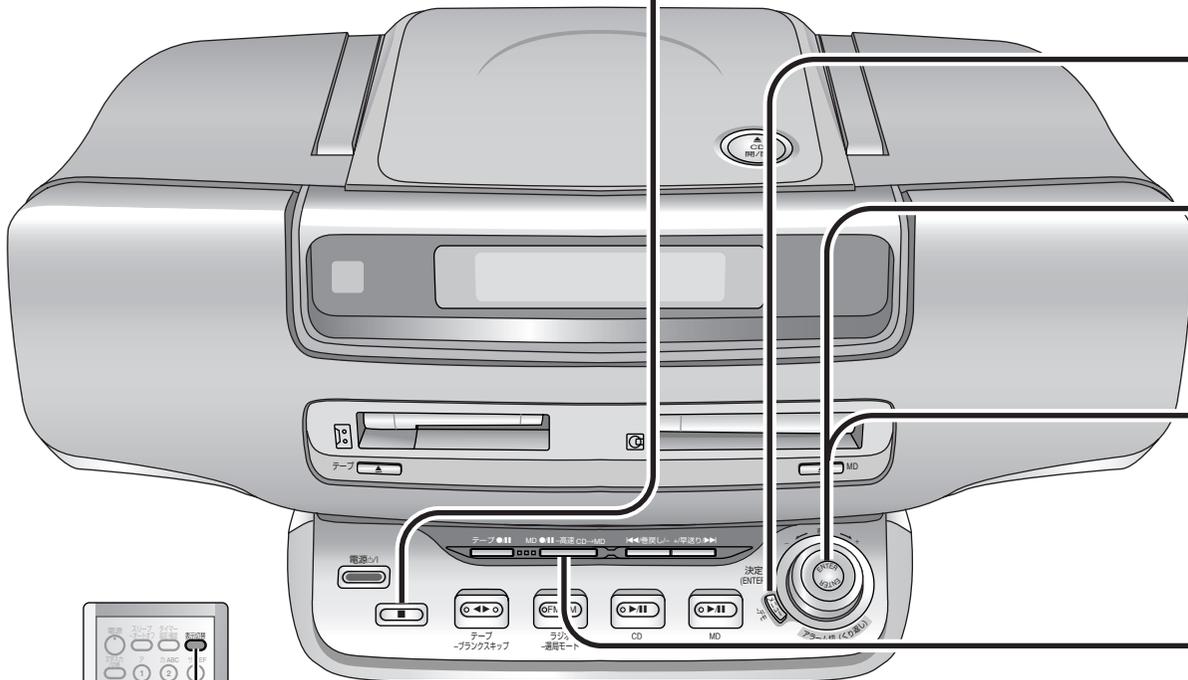
地域選択で記憶させたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

地域番号	地域名	地域番号	地域名
21	大津	31	松山
22	奈良	32	高知
23	和歌山	33	福岡
24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
		35	佐賀
25	鳥取	36	長崎
26	松江	37	大分
27	広島	38	熊本
28	山口	39	宮崎
29	高松・岡山	40	鹿児島
30	徳島	41	那覇

CDをMDに録音する(シンクロ録音)

高速録音可能

はじめて MD を使用する場合は、51ページ「MD について」をお読みください。

準備

- 電源を入れ、録音用MDを入れる。(➡ 13ページ)
- CDを入れる。(➡ 11ページ)

CD-R/RWから録音するとき(アナログ録音について)

- **“ロクオンデキナイ キョク アナログニシテクダサイ”と表示されたら**
  アナログ録音してください。
  ただし、**高速録音**(➡ 30ページ) はできません。

① [■] を押して“CD”を選ぶ。
② [メニュー、ーデモ] を押す。
③ マルチJOGを回して“アナログ ロクオン”を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
④ マルチJOGを回して“アナログ ロクオン?”を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
⑤ [MD ●/❚❚ ー高速 CD → MD] を押す。
録音が始まります。
録音が終わると、アナログ録音モードは、自動的にデジタル録音モードに戻ります。

MD**LP** (長時間ステレオ録音/再生)について

LPモードディスプレイ表示

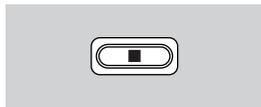
LP2 モード LP2

- LP モード OFF : 標準時間録音モード(表示なし)
- LP2 モード : 2倍長時間録音モード(LP2)
- LP4 モード : 4倍長時間録音モード(LP4)

録音できる時間の違い

	標準	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

- 録音中は、LPモードを変更できません。
- 本機で2倍長時間録音 (LP2) または4倍長時間録音 (LP4) した曲は、 MD**LP** に対応した機器以外では再生できません。
- MD**LP** に対応していない機器で再生すると、曲タイトルの先頭に“LP:”と出て、無音で再生されます。
- LP4 モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、LP モード OFFまたはLP2 モード をおすすめします。
- **カーオーディオが、 MDLP に対応していないときは、標準モード(LP モード OFF)で録音します。**

1

押して
“CD”を選ぶ

CD　14　68 : 25

MDの録音時間（LPモード）を変更する

LPモードについて詳しくは左ページ（MD**LP** について）を参照ください

2

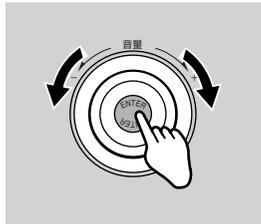
押す

もう1度押すと元の表示に戻ります。

3

① 回して
“LP モード”を選び
② [決定 (ENTER)] を押す

CD　14　68 : 25
LP モード

4

① 回して
LPモードを選び
② [決定 (ENTER)] を押す

LP2 モード　LP2

回すたびに
LP モード OFF → LP2 モード ↔ LP4 モード → LP モード OFF

5

MD ●/❚❚ –高速 CD→MD

押して
録音を始める

高速録音するときは、“コウソク : HI-SPEED”と表示するまで押したままにする

ツウシ゛ョウ ロクオン
CD → MD ロクオン

CDの再生が終わると、MDも自動停止します。

途中で止める	■ **押す** “UTOC カキコミチュウ” の点滅後に録音が停止します。 UTOC カキコミチュウ
一時停止する	MD ●/❚❚ –高速 CD→MD **押す** ● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。 ● トラックマークが付きます。

残り時間などの情報を見る リモコン	表示切替 **押す** 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。 MD　ノコリ　53 : 01

気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）

CD再生中に [MD●/❚❚ －高速 CD → MD] を押す。

曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、MDは自動停止します。

曲の途中から録音したい場合は、CDを一時停止してから [MD●/❚❚ –高速 CD →MD] を押す。

1曲だけ録音するには**「CDの1曲をねらい録りする」**（➡ 31ページ）で “1キョク ロクオン?” を選んで [決定 (ENTER)] を押した後、好みの曲の再生中に [MD●/❚❚ –高速 CD →MD] を押す。

お願い

- **CDを入れてCDふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。**
- CDふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

お知らせ

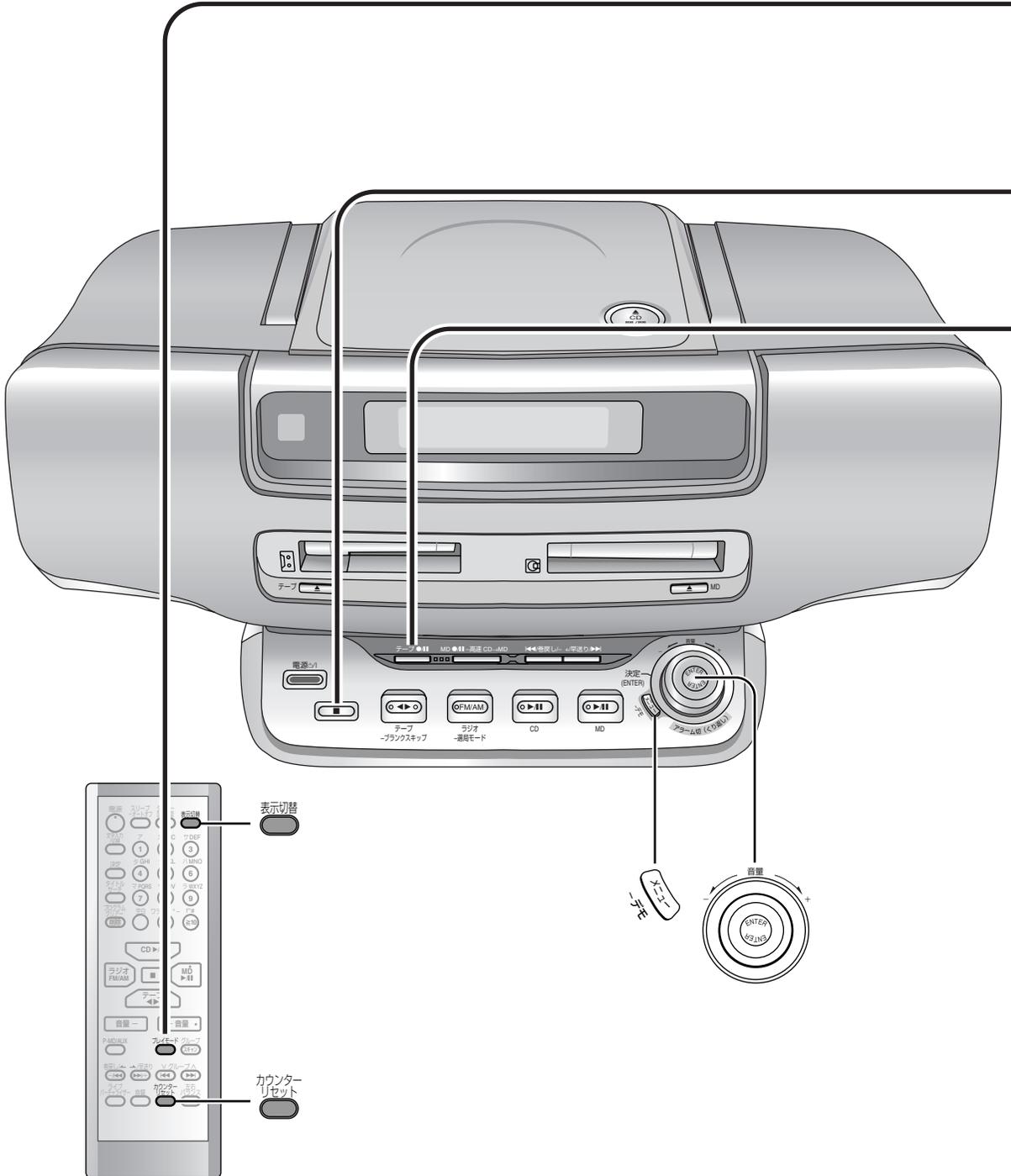
- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。

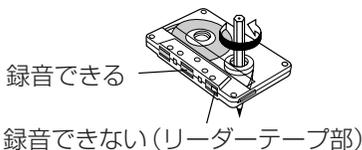
CDをテープに録音する

はじめてテープを使用する場合は、52ページ「テープについて」をお読みください。

録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

準備

- 電源を入れ、録音用テープを入れる。(➡ 19 ページ)
- CDを入れる。(➡ 11 ページ)

リモコン

テープモード時に (他のモード時は [■] を押して "テープ" を選ぶ)

1

押して
再生モードを選ぶ

押すたびに:⇄(カタメン)→⇄⊃(リョウメン)→⊂⇄⊃(リョウメン クリカエシ)

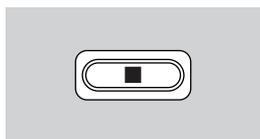
⇄:片面だけ録音して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃:上の面→下の面を録音して自動停止

2

押して
"CD"を選ぶ

CD 14 68 : 25

3

押して
録音を始める

手順**1**で⊂⇄⊃を選んでいても、⇄⊃に変わります。

CD → テープ ロクオン

CDの再生が終わるとテープも自動停止します。

途中で止める	[■] **押す**
一時停止する	[テープ ●/II] **押す** ● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。

テープカウンターを表示させる リモコン	表示切替 **押す** テープ 213
テープカウンターをリセットする リモコン	テープカウンターを表示させた状態で カウンターリセット **押す** テープ 000

本機で再生モードを選ぶ(テープモード時)
① [メニュー、−デモ] を押す。
② マルチJOGを回して、"プレイ モード" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ マルチJOGを回して、"カタメン"、"リョウメン" または "リョウメン クリカエシ" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。

気に入った曲をすぐ録音する(追っかけ録音)
CD再生中に [テープ ●/II] を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、テープは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CDを一時停止してから [テープ ●/II] を押す。
1曲だけ録音するには**「CDの1曲をねらい録りする」**(➡ 31 ページ) で "1キョク ロクオン" を選んで [決定 (ENTER)] を押した後、好みの曲を再生中に [テープ ●/II] を押す。

お願い
- **CDを入れてCDふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。**
- CDふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。
- **一時停止中は、テープを取り出さないでください。**

お知らせ
- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。

ラジオを録音する

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間 (LP モード)を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じて テープの再生モードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

録音モードについて(MDに録音時)

マニュアル ロクオン:通常の録音モードです。トラックマークは自動で付きません。
ターンバック ロクオン:頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。
タイムマーク キロク:5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
ターン/タイムマーク:数秒前の音から録音し、5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
オート マーク キロク:テープの曲間を検知してトラックマークを記録します。

お願い

AM 放送を録音するときは AM ループアンテナと本機をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

ラジオをMDに録音する

途中で止める
[■] を押す。
一時停止する
[MD ●/❚❚ —高速 CD → MD] を押す。
トラックマークがひとつ付きます。
(再開するには、もう一度押す)

お知らせ

- 地域選択で記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲の名前(トラックタイトル)として記録されます。
- AM 放送を MD に録音または録音待機中は、テープを取り出せません。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。

ラジオをテープに録音する

途中で止める
[■] を押す。
一時停止する
[テープ ●/❚❚] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

ラジオをMDに録音する

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**(➡ 21ページ)

2 **押す**

3

① **回して"ロクオン (REC) モード"を選び**

ロクオン (REC) モード

② **[決定 (ENTER)] を押す**

③ **回して録音モードを選び**
(➡ 左記「録音モードについて」)

マニュアル ロクオン?

マニュアル ロクオン? ⟷ ターンバック ロクオン?
↕ ↕
ターン/タイムマーク? ⟷ タイムマーク キロク?

④ **[決定 (ENTER)] を押す**

マニュアル ロクオン、タイムマーク キロク

4 MD ●/❚❚ –高速 CD→MD **押す**
録音が始まります。

ターンバック ロクオン、ターン/タイムマーク

4 MD ●/❚❚ –高速 CD→MD
① **押す**
録音待機状態になります。
② **押す**
録音が始まります。

ラジオをテープに録音する

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**
(➡ 21ページ)

2 テープ ●/❚❚ **押す**
録音が始まります。

F M 80.2 MHz
FM → テープ ロクオン

テープまたはMDを録音する

テープをMDに録音する

1 テープを入れて

押して"テープ "を選ぶ

－－－－テープ －－－

2 **押す**

3

① **回して"ロクオン（REC）モード"を選び**

ロクオン (REC) モード

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して録音モードを選び**
(➡ 左ページ「録音モードについて」)

マニュアル ロクオン？

マニュアル ロクオン? ⟷ オート マーク キロク?
⟶タイムマーク キロク? ⟵

④ **[決定（ENTER)] を押す**

4 MD ●/❚❚ –高速 CD→MD **押す**
録音が始まります。

MDをテープに録音する

1 MDを入れて **押して"MD"を選ぶ**

－－－－ MD －－－－

2 テープ ●/❚❚ **押す**
録音が始まります。

MD　　　1
MD → テープ ロクオン

テープをMDに録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
[MD ●/❚❚ ー高速 CD → MD] を押す。
トラックマークがひとつ付きます。
(再開するには、もう一度押す)
- オート マーク キロクモードでは一時停止できません。

お知らせ

- オート マーク キロクモードの場合、テープの内容によってはトラックマークが正しく付かないことがあります。
- マイクを接続していると、トラックマークが正しく付かないことがあります。
- オート マーク キロクモードでテープをリーダーテープ部から録音すると、約2秒の不要な曲がMDに記録される場合があります。**「1キョク サクジョ」**(➡ 37ページ) で消してください。

MDをテープに録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
[テープ ●/❚❚] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）
MD再生中に [テープ ●/❚❚] を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、テープは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、MDを一時停止してから [テープ ●/❚❚] を押す。
1曲だけ録音するには**「MDの1曲をねらい録りする」**(➡ 31ページ) で "1キョク ロクオン?" を選んで [決定 (ENTER)] を押した後、好みの曲を再生中に [テープ ●/❚❚] を押す。

高速録音する

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じてMDの録音時間(LPモード)を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じてテープの再生モードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

高速録音の制限について

本機の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、次のような制限があります。

- 高速録音終了後、約74分間は、同じCDから高速録音できません。
- 高速録音を途中で止めた後、約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDを高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
- メモリーをリセット(初期化)(➡ 57ページ)しても、約74分間は、高速録音できません。

“ ○○ フン マッテクダサイ”と表示したら
○○分待ってからもう一度高速録音するか、シンクロ録音(➡ 24ページ)してください。

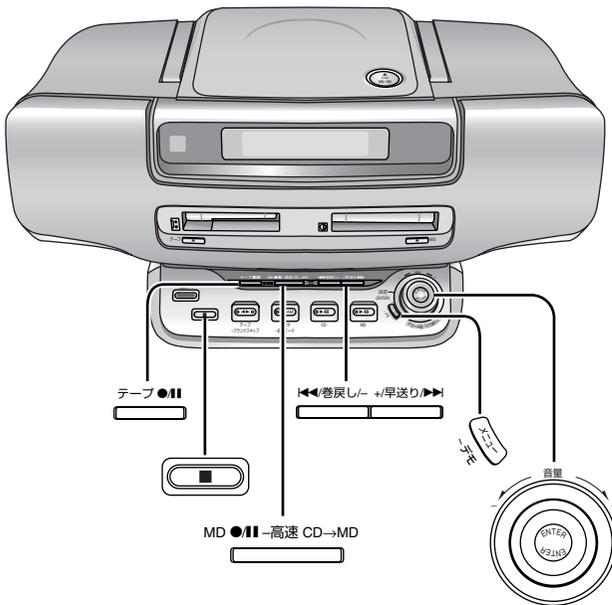
“コウソクロクオン デキマセン”と表示したら
プログラム、リピート、ランダムなどの設定中は高速録音できません。解除してください。

CDからMDに高速録音する

CD→MD (高速録音可能)

- CDからMDに最大6倍速で録音できます。74分のディスクなら、約15分で録音が完了します。
ディスクや条件によって、高速録音できないときがあります。高速録音できないときは、通常の速度で録音してください。
- 高速録音は、下の表のように、他の録音と組み合わせて使えます。

高速録音できる録音の種類

シンクロ(➡ 24ページ)	○
1曲をねらい録り(➡ 31ページ)	○
丸録り(➡ 32ページ)	○
プログラム録音(➡ 33ページ)	×

1 CDを入れて

押して“CD”を選ぶ

−−−− CD −−−−

2 MD ●/❚❚ −高速 CD→MD

“コウソクク:HI-SPEED”と表示するまで押したままにする
録音が始まり、全曲の録音が終了すると停止します。
確認音(ビープトーン)が約10秒鳴ります。
- 確認音は[決定(ENTER)]などを押して止めます。

残量表示
(録音終了時にすべて●で表示されます)

高速録音する

途中で止める
[■] を押す。

確認音の切/入を切り換える
①[メニュー、−デモ]を押す。
②マルチJOGを回して“ビープ モード”を選び、[決定(ENTER)]を押す。
③マルチJOGを回して“ビープ ON”または“ビープ OFF”を選び、[決定(ENTER)]を押す。
ビープ ON(入) ⇄ ビープ OFF(切)

お知らせ

- 高速録音中は一時停止できません。
- 高速録音中の音はモニターできません。
音量を調節すると“ショウオンチュウ”と表示されます。
- ラジオ、P-MD/AUX端子に接続した別売機器など、本機のCD以外からの高速録音はできません。
- 録音終了時の確認音の音量は調節できません。
- CDによっては、録音時間に誤差が生じる場合があります。

1曲をねらい録りする（1曲録音）

CDの1曲をねらい録りする

CD→MD （高速録音可能）

CD→テープ

1 CD を入れて

押して“CD”を選ぶ

―――― CD ――――

2 **押す**

3

① **回して“ロクオン（REC）モード”を選び**

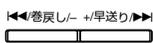
ロクオン (REC) モード

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して“1キョク ロクオン?”を選び**

1キョク ロクオン？

④ **[決定（ENTER)] を押す**

4 |◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶| **押して曲を選ぶ**

5 **MDに録音**

MD ●/II –高速 CD→MD **押す**

高速録音のときは“コウソク：HI-SPEED”が表示されるまで押したままにする。

テープに録音

テープ ●/II **押す**

録音が始まり、終了すると停止します。

MDの1曲をねらい録りする

MD→テープ

1 MD を入れて

押して“MD”を選ぶ

―――― MD ――――

2 **押す**

3

① **回して“ロクオン（REC）モード”を選び**

ロクオン (REC) モード

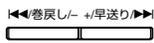
② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して“1キョク ロクオン”を選び**

1キョク ロクオン？

④ **[決定（ENTER)] を押す**

4 |◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶| **押して曲を選ぶ**

5 テープ ●/II **押す**

録音が始まり、終了すると停止します。

1曲をねらい録りする

途中で止める

[■] を押す。

“1キョク ロクオン”は自動的に解除されません

録音が終了しても、“1キョク ロクオン”は自動的に解除されません。解除するには下記を行います。

① [メニュー、–デモ] を押す。

② マルチJOGを回して、“ロクオン（REC）モード”を選び、[決定（ENTER)] を押す。

③ マルチJOGを回して、“マニュアル ロクオン?”を選び、[決定（ENTER)] を押す。

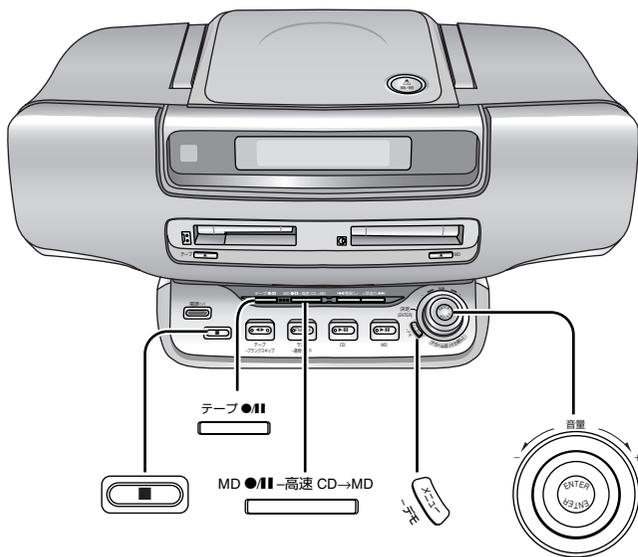
丸録りする

共通の準備

- **電源を入れてから録音用MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じてMDの録音時間（LPモード）を選ぶ。**（➡ 25 ページ）
- **必要に応じてテープの再生モードを選ぶ。**（➡ 27 ページ）

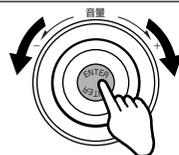
CDの全曲を丸録りする

CDの全曲をMDまたはテープに自動で録音します。
- 録音前に全曲入るかを確認できます。
- MDに録音された全曲はひとつのグループになります。

CD→MD （高速録音可能）
CD→テープ

1 CD を入れて

押して“CD”を選ぶ

2 **押す**

3

① **回して“ロクオン（REC）モード”を選び**

ロクオン (REC) モード

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して“オート ロクオン?”を選び**

オート ロクオン?

④ **[決定（ENTER)] を押す**

MD : ゼンキョクロクオンカノウ
テープ : C- 52

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [表示切替] を押してください。
- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

4

MDに録音	**テープに録音**
MD ●/II –高速 CD→MD **押す**	テープ ●/II **押す**
高速録音のときは “コウソク : HI-SPEED” が表示されるまで押したままにする。	テープは自動的に巻き戻されます。

録音が始まり、終了すると停止します。（“オート ロクオン” は解除されます）

共通の項目

途中で止める
[■] を押す。（“オート ロクオン” は解除されます）

- “C————” と表示されたら録音に必要なテープの長さが120分以上であることを表しています。
- テープは自動的に巻き戻され、約10秒間、無音録音した後、1曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープのおもて面の最後で曲がとぎれた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
- テープ反転直前にリーダーテープ部より短い曲があれば、その曲は録音されません。

CDの全曲を丸録りする

お知らせ
- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- 丸録りしても、UTOCエリアに空きがない場合はグループになりません。
- CDによっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- MDに全曲入らない場合、録音できない曲番と録音曲数が表示されているときに、MDの録音時間（LPモード）を変更する（➡ 25ページ）ことで丸録りできる場合があります。

MDの全曲を丸録りする

MDの全曲をテープに自動で録音します。
録音前に全曲入るかを確認できます。

MD→ テープ

1 MD を入れて

押して“MD” を選ぶ

2 **押す**

3

① **回して“ロクオン（REC）モード”を選び**

ﾛｸｵﾝ (REC) ﾓｰﾄﾞ

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して“オート ロクオン?”を選び**

ｵｰﾄ ﾛｸｵﾝ?

④ **[決定（ENTER)] を押す**

ﾃｰﾌﾟ : C- 52

テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

4 テープ●/II **押す**

- テープは自動的に巻き戻されます。
- 録音が始まり、終了すると停止します。
  （“オート ロクオン”は解除されます）

MDの全曲を丸録りする

お知らせ

丸録り中は、録音を一時停止できません。

好みの数曲を予約して録音する

好みの数曲を丸録りする（プログラム録音）

CD→ MD **CD→ テープ** **MD→ テープ**

1

CDから録音	MDから録音
CDを入れて **押して “CD” を選ぶ**	MDを入れて **押して “MD” を選ぶ**

2 **録音したい曲をプログラム予約する**

（➡ 16ページ）

3

押す

4

① **回して “ロクオン（REC）モード”を選び**

ﾛｸｵﾝ (REC) ﾓｰﾄﾞ

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して “オート ロクオン?” を選び**

ｵｰﾄ ﾛｸｵﾝ?

④ **[決定（ENTER)] を押す**

MD : ｾﾞﾝｷｮｸﾛｸｵﾝｶﾉｳ
ﾃｰﾌﾟ : C- 52

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。
  録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [表示切替] を押します。
- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

5

MDに録音	**テープに録音**
MD ●/II –高速 CD→MD **押す**	テープ●/II **押す** テープは自動的に巻き戻されます。

録音が始まり、終了すると停止します。
（“オート ロクオン” は解除されます）

好みの数曲を丸録りする

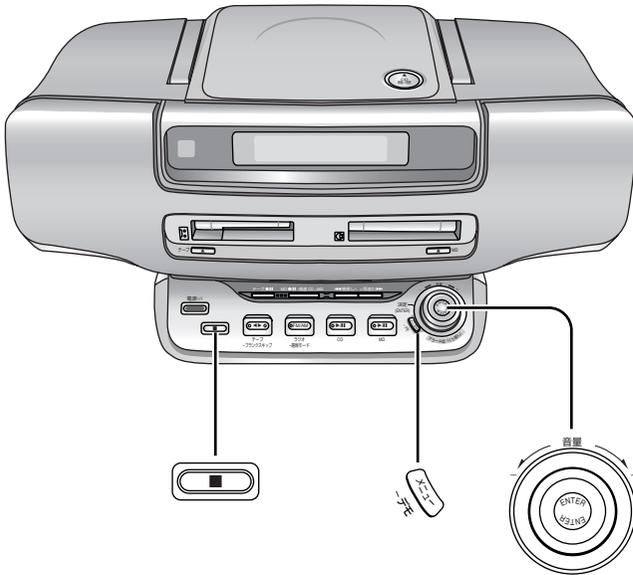
お知らせ

プログラム録音は、曲と曲の空きが少し多くなります。このため、MDでは “ゼンキョク ロクオン カノウ” とテープでは “C−○○” と表示されても MDや○○分のテープに全曲録音できないことがあります。

MDを編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルMDを作れます。(録音用MDのみ)

共通の準備

① 編集するMDを入れる。
② [■] を押して"MD"を選ぶ。

共通の項目

途中で解除する
[■] を押す。

以下の場合はMDの編集はできません。解除してください。
- MDが誤消去防止になっている場合
- MDをプログラム、ランダム、グループ再生に設定している場合

曲をグループにまとめる

お知らせ
- グループにできるのは、連続した曲(例:3曲目~9曲目)のみです。
- 1曲だけでもグループにできます。
- 1曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- グループ編集を行ったMDで編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

曲をグループにまとめる

MDに録音した曲を、ひとつのグループにして管理できます。(最大99グループまで)

1

停止中に押す

2

① 回して"ヘンシュウ モード"を選び

ヘンシュウ モード

② [決定 (ENTER)] を押す

③ 回して"グループ?"を選び

グループ?

④ [決定 (ENTER)] を押す

⑤ 回して"グループ セッテイ?"を選び

グループ セッテイ?

⑥ [決定 (ENTER)] を押す

⑦ 回してトラック番号を選び

3?~---

⑧ [決定 (ENTER)] を押す

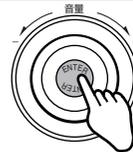
⑨ 回してトラック番号を選び

3 ~ 9?

⑩ [決定 (ENTER)] を押す

3

グループにタイトルを付ける
(➡ 41ページ)

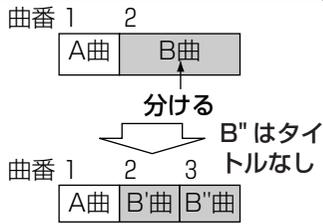
4

押す
"UTOC カキコミチュウ"の点滅後、グループ編集が完了します。

グループを解除する

- **ひとつのグループを解除する**
  ① 手順 **2**-⑤ で"1グループ カイジョ?"を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
  ② マルチJOGを回して解除したいグループを選び、[決定 (ENTER)] を押す。
  ③ [決定 (ENTER)] を押す。("UTOC カキコミチュウ"と表示)
- **全グループを解除する**
  ① 手順 **2**-⑤ で"ゼンブ カイジョ?"を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
  ② [決定 (ENTER)] を押す。("UTOC カキコミチュウ"と表示)

1曲を2つに分ける（曲分割）

こんなMDになります

曲番 1　2
A曲｜B曲
分ける
B" はタイトルなし
曲番 1　2　3
A曲｜B'曲｜B"曲

1

2つに分ける曲を再生中に押す
もう一度押すと、元の表示に戻ります。

2

① **回して“ヘンシュウ モード”を選び**

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② **[決定（ENTER）] を押す**

③ **回して“キョク ブンカツ?”を選び**

ｷｮｸ ﾌﾞﾝｶﾂ ?

④ **分ける、おおよその位置で [決定（ENTER）] を押す**

ｲﾁ　+000?

分けた位置から、約4秒間くり返し再生します。

⑤ **回して正確に位置を調節し**

ｲﾁ　+002?

調節範囲　LP モード OFF：前後約8秒間
LP2：前後約16秒間
LP4：前後約32秒間
数値は−128から+127の範囲で表示されます。

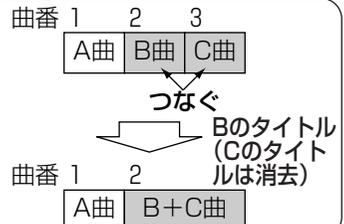
⑥ **[決定（ENTER）] を押す**
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが1つ増えます）

2曲をつなぐ（曲結合）

こんなMDになります

1

停止中に押す

2

① **回して“ヘンシュウ モード”を選び**

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② **[決定（ENTER）] を押す**

③ **回して“キョク ケツゴウ?”を選び**

ｷｮｸ ｹﾂｺﾞｳ?

④ **[決定（ENTER）] を押す**

⑤ **回して1つにつなぐ曲の組み合わせを選び**（隣り合う2曲のみ選択可）

2+　3?

⑥ **[決定（ENTER）] を押す**

2+　3 ?
⇕
ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

⑦ **[決定（ENTER）] を押す**
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが1つ減ります）

曲結合

再生中（または一時停止中）に2曲をつなぐ
① つなぎたい曲の後ろの曲を再生中に [メニュー、−デモ] を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

異なるモード（LP モード OFF/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲は、1つにまとめられません。

共通の準備

① 編集するMDを入れる。

② [■] を押して“MD”を選ぶ。

曲を移動する（曲移動）

こんなMDになります

1

停止中に押す

2

① 回して“ヘンシュウ モード”を選び

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② [決定 (ENTER)] を押す

③ 回して“キョク イドウ?”を選び

ｷｮｸ ｲﾄﾞｳ?

④ [決定 (ENTER)] を押す

⑤ 回して移動する曲を選び

1?→－－－

⑥ [決定 (ENTER)] を押す

⑦ 回して移動先を選び

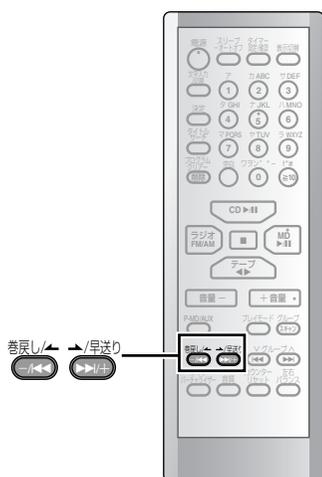
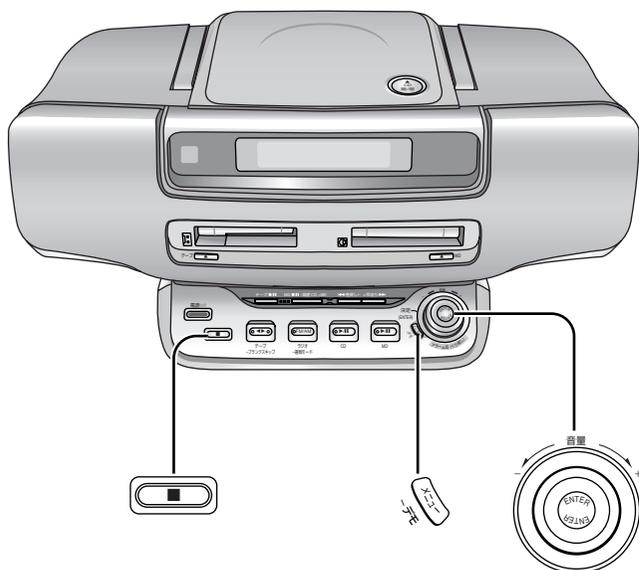
1 → 3?

⑧ [決定 (ENTER)] を押す

1 → 3 ?

⇕

ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

⑨ [決定 (ENTER)] を押す
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。

共通の項目

途中で解除する
[■] を押す。

以下の場合は、MDの編集ができません。解除してください。

- MDが誤消去防止になっている場合
- MDをプログラム、ランダム、グループ再生に設定している場合

曲移動

再生中（または一時停止中）に移動する

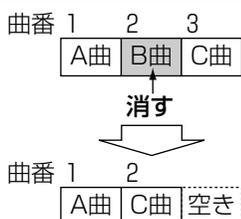
① 移動したい曲を再生（または一時停止）中に [メニュー、－デモ] を押す。

② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

1曲ずつ消す（1曲削除）

こんなMDになります

1 **停止中に押す**

2

① 回して“ヘンシュウ モード”を選び

ヘンシュウ モード

② [決定（ENTER)] を押す

③ 回して“1キョク サクジョ?”を選び

1キョク サクジョ?

④ [決定（ENTER)] を押す

⑤ 回して曲番を選び

サクジョ 2?

⑥ [決定（ENTER)] を押す

サクジョ 2 ?

⇕

ケッテイ ヲ オス

続けて曲を消すときは、手順⑤、⑥をくり返す（最大24曲まで）

消す前に曲番を確かめる
リモコンの［－/⏮ 巻戻し/◢］または［⏭/＋◣ /早送り］を押す。（“サクジョキョク カクニン”モード）

⑦ [決定（ENTER)] を押す
“UTOC カキコミチュウ”の点滅後、編集が完了します。

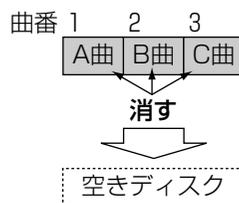
1曲削除

再生中（または一時停止中）の1曲だけ消す
① 消したい曲を再生（または一時停止）中に［メニュー、－デモ］を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

全曲を消す（全曲削除）

こんなMDになります

1 **停止中に押す**

2

① 回して“ヘンシュウ モード”を選び

ヘンシュウ モード

② [決定（ENTER)] を押す

③ 回して“ゼンキョク サクジョ?”を選び

ゼンキョク サクジョ?

④ [決定（ENTER)] を押す

ゼンキョク サクジョ?

⇕

ケッテイ ヲ オス

⑤ [決定（ENTER)] を押す
“UTOC カキコミチュウ”→“ブランク ディスク”表示になり、編集が完了します。

MDにタイトルを付ける

CDを録音中にまとめてタイトルを付ける

シンクロ録音中はトラックタイトルを、丸録り中はグループタイトルとトラックタイトルを付けられます。

- 録音用MDには、MDの名前(ディスクタイトル)やグループ名(タイトル)、曲の名前(トラックタイトル)をそれぞれ約100文字まで記録できます。(LP2/LP4では97文字)
- 1枚のMDには、最大約1700文字(カナ文字では約半分の文字数)まで入力できます。ただし、LP2/LP4で録音したり、グループの設定をすると入力できる文字数は減ります。
- 例えばLP2/LP4で録音した50曲にタイトルを入力する場合、1曲あたり約25文字(カナ文字では約11文字)になります。

1 文字入力/切替 **録音中に押す**

シンクロ録音中：
トラックタイトル入力画面になります。手順 **4** に進みます。

丸録り中：
グループタイトル入力画面になります。

例：丸録り中

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀｲﾄﾙ
ﾀｲﾄﾙ ﾆｭｳﾘｮｸ

▼

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀｲﾄﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1 ﾀｲﾄﾙ

▼

カーソル ■

2 **グループタイトルを入力する**
(➡ 41ページ)

3 決定 **押す**
トラックタイトル入力画面になります。

4 **トラックタイトルを入力する**
(➡ 41ページ)

5 決定 **押す**
次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す
(入力しない曲は、[決定] でとばせます)

決定 **押す**
"タイトル カキコミチュウ" と表示した後、通常の表示に戻ります。

共通の項目

途中で解除する
[■] を押す。
ただし、[決定] を押して確定したタイトルは残ります。[文字入力/切替] を押すと、もう1度最初からタイトルを入力/修正できます。

CDを録音中にまとめてタイトルを付ける

タイトルを追加、訂正する
- 録音中は、[文字入力/切替] を押すと、もう1度最初からタイトルを入力/修正できます。
- 録音終了後は、**「グループ/トラックタイトルを付ける」**(➡ 右ページ) をします。

タイトル入力中のグループまたはトラック番号を確認する
[表示切替] を押す。

お知らせ
- タイトルは、1曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- CDのランダム、リピート設定中は、録音中のトラックのみタイトルを付けられます。
- 録音中に一時停止すると、まとめてタイトル入力できません。
- タイトル入力中/入力後は、一時停止できません。

録音したMDにタイトルを付ける

準備

① タイトルを付けるMDを入れる。
② [■] を押して "MD" を選ぶ。

ディスクタイトルを付ける

1
停止中に押して"ディスク?"を選ぶ

ディスク? タイトル

押すたびに
ディスク? → グループ? → キョク?
└── 元の表示 ←──┘
"グループ?" はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2
押す
タイトル入力画面になります。

カーソル

3
文字を入力する(➡ 41ページ)

4
押す
"UTOC カキコミチュウ" 点滅後、タイトル入力が完了します。

グループ/トラックタイトルを付ける

1
停止中に押して"グループ?"または"キョク?"を選ぶ
例：キョク

キョク? タイトル

押すたびに
ディスク? → **グループ?** → **キョク?**
└── 元の表示 ←──┘
"グループ?" はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2
押す

3
巻戻し/◀◀ または ▶▶/早送り

押してグループまたは曲番を選ぶ
例：曲番

トラック 3? タイトル

4
押す
タイトル入力画面になります。

カーソル

5
文字を入力する(➡ 41ページ)

6
押す
"UTOC カキコミチュウ"点滅後、次のグループまたはトラックタイトルの入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す

7
押す
タイトル入力が完了します。

録音したMDにタイトルを付ける

入力後にタイトルを確認する
[表示切替] を数回押す。
表示される内容は、現在行っている操作や音源(ソース)などによって異なります。

お知らせ

プログラム、ランダム、1曲リピート、グループ再生設定中は、タイトル入力できません。解除してください。

録音したMDの再生中にタイトルを付けることもできます(再生中の曲のみ)
① 再生中に [文字入力/切替] を押す。
② 文字を入力し(➡ 41ページ)、[決定] を押す。
"タイトル カキコミチュウ" と表示された後、通常の表示に戻ります。

再生中にタイトルを付けると、つづきの再生中にMDの編集はできません。MDを止めてから編集してください。

他のMDにタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MDのディスク/トラックタイトルを別のMDにそのままコピーできます。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先のMDの曲数が同じときだけコピーできます。
- 再生専用MDや未録音のMDは使えません。
- すでにタイトルの入っているMDにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

1 **押して“MD”を選ぶ**

2 **タイトルの付いたMD（コピー元）を入れる**

3 **押す**

4

① 回して“ヘンシュウ モード”を選び

ヘンシュウ モード

② [決定（ENTER）] を押す

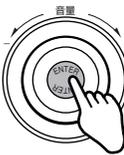
③ 回して“タイトル ステーション?”を選び、[決定（ENTER）] を押す

タイトル ステーション？
⇕
ケッテイ ヲ オス

④ [決定（ENTER）] を押す

タイトル キロク
▼
カンリョウシマシタ
▼
MD トリダシ

5 **押してMDを取り出し、タイトルを付けるMD（コピー先）を入れる**

カキコンデ イイデスカ?
⇕
ケッテイ ヲ オス

6 **押す**
“UTOC カキコミチュウ”の点滅後、タイトルコピーが完了します。

タイトルステーション

途中で解除する
[■] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは、MD1枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4で録音した曲をコピー元MDとして使った場合、コピー先の曲が標準（LP モードオフ）で録音されていても、トラックタイトルの頭に“LP:”と表示されます。
- コピー元MDがグループ管理されているときは、コピー先MDにグループ管理情報もコピーされます。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、入力します。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲン゛゜ー			0

1 文字入力/切替

押して
文字の種類を選ぶ

押すたびに
アイウエオ（カナ）→ ABCDE（英大）
↑　　　　　　　　　↓
12345（数字）← abcde（英小）

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 **押して文字を選ぶ**

a

選んだ文字がカーソルに表示されます。

3 /早送り ▶▶I/＋

押す

a■

文字が確定され、次の文字が入力できます。

入力を途中で止める

[■] を押す。

ただし、[決定] を押して確定したタイトルは残ります。

入力済みの文字を変更する

[−/I◀◀ 巻戻し/] または [▶▶I/＋ /早送り] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- **文字を訂正する**
  文字入力（上記）で上書きし、[▶▶I/＋ /早送り] を押す。
- **文字を削除する**
  [削除、プログラムクリアー] を押す。
- **1文字あける**
  [空白] を押す。
- **文字を挿入する**
  ① 挿入する位置で、挿入する文字の数だけ [空白] を押す。
  ② 文字を入力する。（上記）

゛ ゜ —を入力する

[0 ワヲン゛ ゜ —] を数回押す。

記号を入力する

[≧10 !"#] を押す。

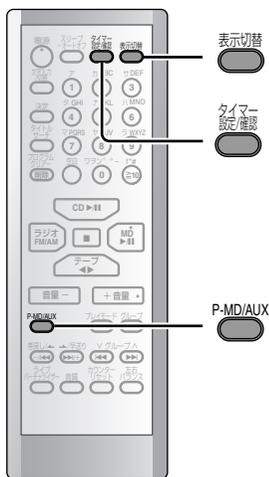
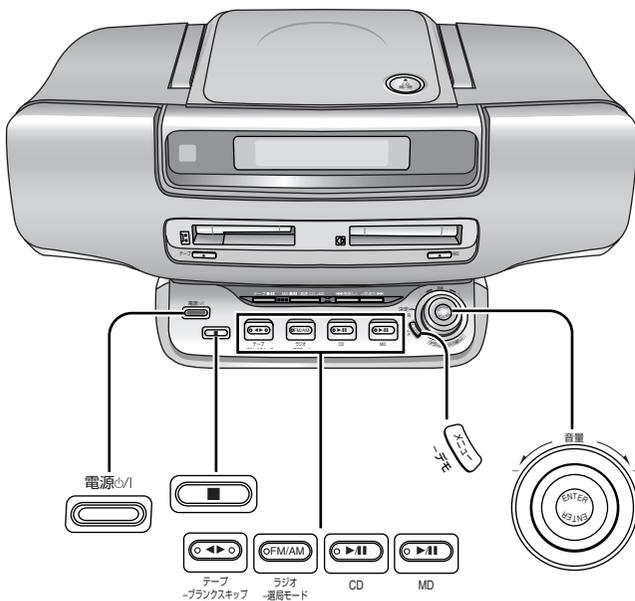
押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # $ % & ' ( ) ∗ + , − . / : ; < = > ? @ _ `

1文字空き（空白）を入力する

[空白] を押す。

お知らせ

- 文字の種類は、入力中でも切り換えられます。
- 再生、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。

時計を合わせる

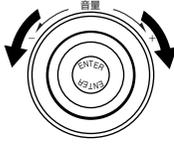
本機の時計は24時間表示です。
例：16時25分（午後4時25分）に合わせる。

1
押して
電源を入れる

2
押す
もう一度押すと元の表示に戻ります。

3
① **回して"ジコク セッテイ"を選び**

ジ゛コク セッテイ

② **[決定（ENTER）]を押す**

4
10秒以内
回して時刻を合わせる

ジ゛コク　16 : 25

時、分を同時に合わせます。

5
押して
時計をスタートさせる

ジ゛コク　16 : 25

- 時報などに合わせて押します。
- 約1秒で元の表示に戻ります。

時計を確認するには

リモコン
数回押して、
"ジコク"を表示させ、時計を確認する

ジ゛コク　16 : 25

時計を合わせる

電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。（リモコンの[タイマー設定/確認]を押すと照明が点灯し、見やすくなります。約3秒で自動的に消灯します。）

お知らせ

- 時計精度は室温において月差約1分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 停電後、約74分以内に復帰した場合、時計表示全体が点滅します。
  この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時計が合っていることを確認してください。
- 時計を合わせると、**デモ機能**（➡ 2ページ）は自動的に「切」になります。

おめざめタイマーを使う

- 開始時刻に電源が入り、好みの音源（ソース）を再生し、終了時刻に電源が自動的に切れます。
- 一度時刻設定しておくと、あとは音源（ソース）の設定を変えるだけで、違う音源（ソース）で使えます。

準備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 左ページ)
例：6:30〜7:40まで再生する。

タイマー時刻設定（24時間表示）

押す
もう一度押すと元の表示に戻ります。

① **回して"タイマー セッテイ"を選び**

タイマー セッテイ

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して"タイマーサイセイ：PLAY"を選び**

タイマーサイセイ：PLAY

④ **[決定（ENTER)] を押す**

10秒以内

⑤ **回して開始時刻に合わせ**

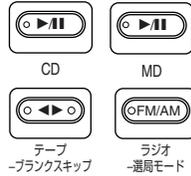
ON 6：30 → OFF 0：00

⑥ **[決定（ENTER)] を押す**

⑦ **回して終了時刻に合わせ**

ON 6：30 → OFF 7：40

⑧ **[決定（ENTER)] を押す**

タイマー実行設定

音源（ソース）と音量を選ぶ

① **音源（ソース）を再生し、**

好みの曲を予約するには（➡ 16ページ）

② **音量を調節し、**

③ **CD/MD/テープは再生を止める**

4 リモコン

押して
"タイマーサイセイ：PLAY"を選ぶ

PLAY
タイマーサイセイ：PLAY

押すたびに

タイマー カイジョ→ALARM (ALARM)→タイマーサイセイ：PLAY (PLAY)
↑ ↓
タイマーロクオン：REC (REC)←ALARM (ALARM PLAY)

時刻設定していないタイマーは表示されません

5 電源

押して
電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

開始時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は、"PLAY" が点滅）

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作の後は、必ず電源を切ります。
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

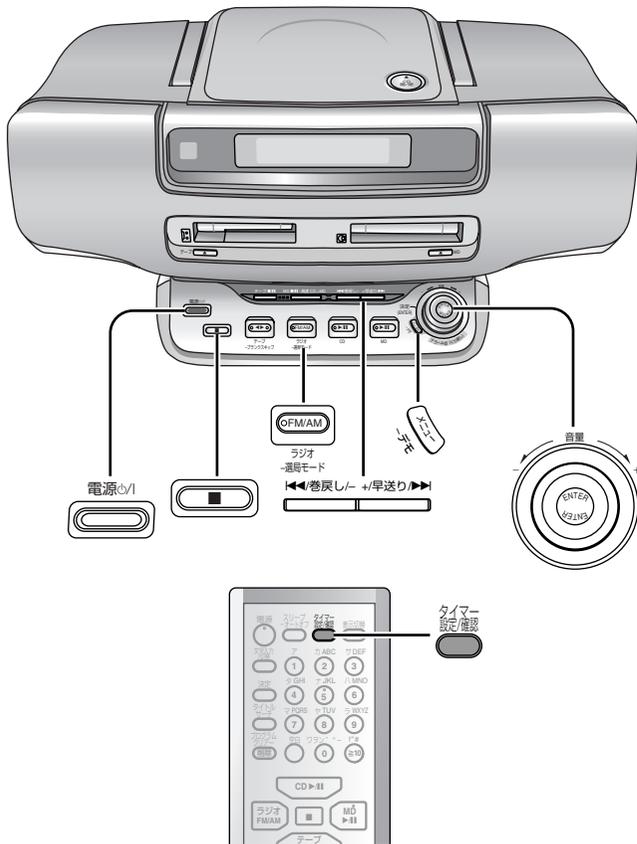
おめざめタイマー

解除する
電源を入れ、リモコンの [タイマー設定/確認] を押して "タイマー カイジョ" を選ぶ。
- 再び実行させるときは、"タイマーサイセイ：PLAY (PLAY)" を選び、電源を切る。

設定内容を確認する
電源「切」のときに、リモコンの [タイマー設定/確認] を押す。

別売機器を使ったタイマー設定
手順 **3** でリモコンの [P-MD/AUX] を押して "AUX" にし、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定する。

操作をまちがえたり、設定内容を変える
時刻を変えるとき
電源を入れ、 タイマー時刻設定 を行い、電源を切る。
音源（ソース）を変えるとき
① [タイマー設定/確認] を押して "タイマー カイジョ" を選ぶ。
② タイマー実行設定 をする。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **アラームタイマー**（➡ 44ページ）と同時に設定するときは、手順 **4** で "ALARM (ALARM PLAY)" を選びます。

アラームタイマー

アラーム音を停止する
アラームが鳴っているときに [■] を押す。

アラーム音を一時停止する（アラーム切（くり返し））
アラームが鳴っているときに
- マルチ JOG を回すか [決定 (ENTER)] を押す。
- [メニュー、－デモ] を押す。

約 6 分後に、再度アラーム音が鳴ります。

解除する
電源を入れ、リモコンの [タイマー設定/確認] を押して "タイマー カイジョ" を選ぶ。

設定内容を確認する
電源「切」のときにリモコンの [タイマー設定/確認] を押す。

お知らせ
- アラームタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- 再生中や、おめざめタイマーと設定時刻が重なったときは、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **おめざめタイマー**（➡ 43 ページ）と同時に設定するときは、手順 **3** で "ALARM (ALARM⏻PLAY)" を選びます。
- **停止・一時停止の操作**（➡ 上記）をしないときは、約 60 分間鳴り続けます。（音量は調節できません）
- 電源「切」時にアラーム音が鳴ると、表示部の照明が点灯し、一時停止の操作をすると消えます。
- アラーム音が鳴っているときや一時停止中は "ALARM" が点滅します。

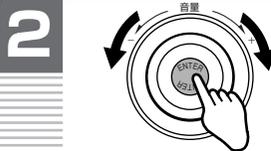
アラームタイマーを使う

指定した時刻にアラーム音を鳴らします。

準備
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 42 ページ)
例： 6:45 にアラーム音を鳴らす。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1 メニュー －デモ **押す**

2

① 回して"タイマー セッテイ"を選び

タイマー セッテイ

② [決定 (ENTER)] を押す

③ 回して"アラーム： ALARM"を選び

アラーム：ALARM

④ [決定 (ENTER)] を押す

10 秒以内

⑤ 回して開始時刻に合わせ

ALARM 6 : 45

⑥ [決定 (ENTER)] を押す

タイマー実行設定

3 リモコン

タイマー設定/確認 **押して"ALARM (ALARM)"を選ぶ**

ALARM
ALARM 6 : 45

押すたびに

タイマー カイジョ→**ALARM (ALARM)**→タイマーサイセイ：PLAY (⏻PLAY)
↑ ↓
タイマーロクオン：REC (⏻REC)←ALARM (ALARM⏻PLAY)

時刻設定していないタイマーは表示されません。

指定した時刻になると、アラーム音が鳴ります。

留守録タイマーを使う

開始時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻に電源が自動的に切れます。

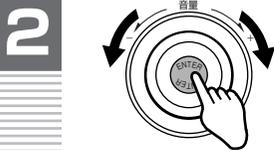
準備

① 電源を入れ、録音用MDまたはテープを入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 42 ページ)
例： 18:30 ～ 20:00 まで、放送を録音する。

タイマー時刻設定(24 時間表示)

1

押す

2

① 回して"タイマー セッテイ"を選び

タイマー セッテイ

② [決定 (ENTER)] を押す

③ 回して"タイマー ロクオン： REC"を選び

タイマー ロクオン ： REC

④ [決定 (ENTER)] を押す

10 秒以内

⑤ 回して開始時刻に合わせ

ON OFF
18 : 30 →→ 0 : 00

⑥ [決定 (ENTER)] を押す

⑦ 回して終了時刻に合わせ

ON OFF
18 : 30 →→ 20 : 00

⑧ [決定 (ENTER)] を押す

タイマー実行設定

3

放送を受信する
① "FM"または"AM"を選ぶ(➡ 21 ページ)

|◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶|

周波数を選ぶ
② 記憶させた放送局を選ぶには (➡ 23 ページ)

③ 音量を調節する
必要に応じて下記を設定する
録音モード(➡ 28 ページ)
MD の録音時間 (LP モード)
(➡ 25 ページ)

4

リモコン

押して
"MD ロクオン"または
"テープ ロクオン"を選ぶ

例：
MD
ロクオン

⏲REC
タイマーロクオン ： REC
MD ロクオン

押すたびに

タイマー カイジョ→ALARM (ALARM)→タイマーサイセイ : PLAY (⏲PLAY)
↑ ↓
タイマーロクオン : REC (⏲REC)←ALARM (ALARM⏲PLAY)
(MD ロクオン/テープ ロクオン)

時刻設定していないタイマーは表示されません。

5

電源⏻/I

押して
電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

- 開始時刻の約 30 秒前になると電源が入り、自動的に録音が始まります。(動作中は "⏲ REC" が点滅)
- 設定した音量までフェードイン(除々に大きく)しますが、録音される音には影響しません。

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作後は、録音用MDを入れ、必ず電源を切ります。電源を切らないとタイマーが動作しません。

留守録タイマー

解除する
電源を入れ、リモコンの [タイマー設定/確認] を押して "タイマー カイジョ" を選ぶ。
- 再び実行させるときは、"タイマー ロクオン：REC (⏲ REC)" を選び、電源を切る。

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは
時刻を変えるとき
電源を入れ、*タイマー時刻設定* を行い、電源を切る。
音源（ソース）を変えるとき
① [タイマー設定/確認] を押して "タイマー カイジョ" を選ぶ。
② *タイマー実行設定* をする。

設定内容を確認する
電源「切」のときに、リモコンの [タイマー設定/確認] を押す。

お知らせ
- 留守録タイマーはおめざめタイマー、アラームタイマーと同時に設定できません。
- ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、設定した開始時刻から録音が始まります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、再生を停止し、自動的に電源が切れます。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

"オートオフ セッテイ"と表示するまで押したままにする

オートオフ セッテイ

おやすみタイマー

解除する
[スリープ、–オートオフ] を押して "スリープ OFF" を選ぶ。

残り時間を確かめる
[スリープ、–オートオフ] を 1 回押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

残り時間を変える
[スリープ、–オートオフ] を押して新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、**オートオフ**を働かせているときは、オートオフが優先します。

オートオフ

解除する
"オートオフ カイジョ" と表示するまで [スリープ、–オートオフ] を押したままにする。

お知らせ

- オートオフ機能は、CD、MD、テープの停止中のみ働きます。
  ラジオを聞いているときは働きません。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に "オートオフ セッテイ" と表示されます。
- **おやすみタイマー**が 10 分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。

メモリーの保持について

電源プラグを 3 分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、右のように、本機は設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を超えて、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、もう一度設定してください。
メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。（電源「切」時の消費電力：約 0.8 W）

● 約 74 分間、保持する項目

- 現在時刻
- タイマー設定（時刻以外の内容）

● 約 1 週間、保持する項目

- タイマー設定（時刻）
- 放送局の設定（地域選択）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- MD のプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定など

音質・音場効果/便利な機能

音質・音場効果を選ぶ

好みの音質や音場効果を楽しめます。

臨場感を高める　L.V.(ライブバーチャライザー)

押して
"L.V. ON"を選ぶ

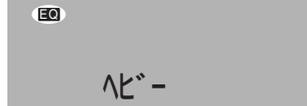
LV
L.V. ON

押すたびに
L.V. ON ←→ L.V. OFF(解除)

効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

音質を切り換える　EQ(イコライザー)

押して
音質モードを選ぶ

EQ
ヘビー

押すたびに
- **ヘビー**：　ロックなど、パンチを効かせるとき
- ↓
- **クリアー**：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
- ↓
- **ソフト**：　BGMとして聞くとき
- ↓
- **ボーカル**：ボーカルにつやを出したいとき
- ↓
- **EQ-OFF**：音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は"ヘビー"です。

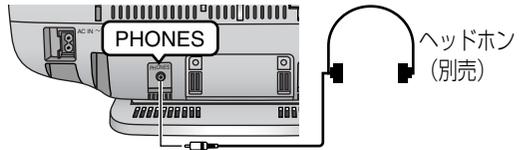
時間やタイトルなどの情報を見る

タイトルや残り時間などいろいろな情報が表示されます。

押す
押すたびにいろいろな情報が表示されます。
例：録音用MDの残り時間

MD ノコリ　53：01

表示される内容は、現在行っている操作や音源(ソース)によって異なります。

ヘッドホンを使う

プラグタイプ：ø3.5 mm ステレオミニプラグ

① 音量を下げる。
② 本機後面のPHONES端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

スピーカーの音量バランスを調節する(ポジションセレクター)

スピーカーの音量バランス(左右2段階)を調節することで、本機正面で聞いていなくても、本機正面で聞いているような音場が楽しめます。

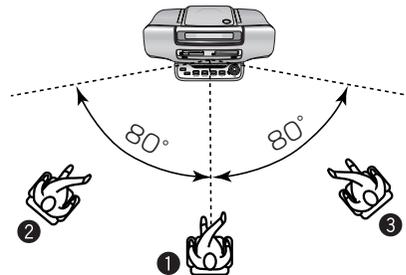
押して左右の音量が同じ大きさになるように調節する
サユウ バランス ON　：ポジションセレクター「ON」のとき
サユウ バランス OFF：ポジションセレクター「OFF」のとき

サユウ バランス ON
《《《ヒダリ ミギ》

聞いている位置が本機正面の場合(❶)
≪ヒダリ ミギ≫

聞いている位置が本機の左側の場合(❷)
≪ヒダリ ミギ≫≫≫　：本機正面から20°～60°のとき
≪ヒダリ ミギ≫≫≫≫≫：本機正面から50°～80°のとき

聞いている位置が本機の右側の場合(❸)
≪≪≪ヒダリ ミギ≫　：本機正面から20°～60°のとき
≪≪≪≪≪ヒダリ ミギ≫：本機正面から50°～80°のとき

ポジションセレクター

お知らせ

- ポジションセレクター機能をONにしておくと、電源「入」時に設定されている状態を表示します。
- ヘッドホンを使用するときは、ポジションセレクターを"サユウ バランス OFF"にしてください。
- 左記の角度は、良い効果を得るための目安です。本機との距離や部屋のつくりなどによっては、最適値が変わる場合があります。

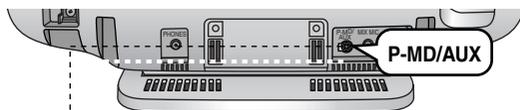
別売機器を使う

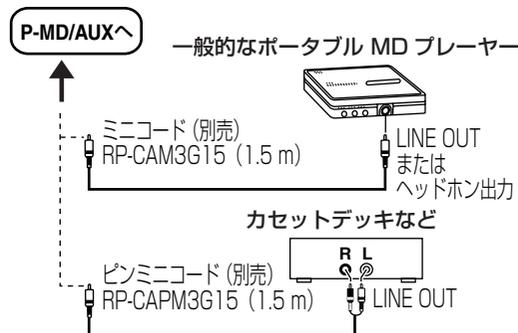
別売品の品番は、2008 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MD または テープ を本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間（LP モード）を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じてテープの再生モードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

別売機器をつなぐ

電源を切った状態で接続します。

MD ネットワーク対応の当社ポータブル MD プレーヤーから、本機の MD に録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（再生専用 MD のタイトルはコピーできません）

MD ネットワーク対応の当社ポータブル MD プレーヤー

※当社ポータブル MD プレーヤーの取扱説明書に記載されているものをお買い求めください。

共通の項目

途中で止める
[■] を押す。

音源（ソース）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

録音モードについて（MD に録音時）

つないだ機器によって、選択できる録音モードは異なります。

マニュアル ロクオン：通常の録音モードです。トラックマークは自動で付きません。

シンクロ ロクオン：接続した機器の再生が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が約 3 秒続くと録音が一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

ターンバック ロクオン：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

タイムマーク キロク：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

ターン/タイムマーク：数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

MD ネットワークで MD から MD に録音

全曲録音、曲を選んでの録音、タイトルコピーが簡単にできます。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤー

1 リモコン P-MD/AUX **押して"P-MD"を選ぶ**

ポータブル MD 側の総曲数

P-MD (18Tr)

押すたびに AUX ⟷ P-MD

2 全曲録音する

MD ●/II –高速 CD→MD **押す**

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

1 曲ずつ録音する

|◀◀/巻戻し/– +/早送り/▶▶| **押して、曲番を選ぶ**
確認として、選んだ曲が自動的に再生されます。

▼

MD ●/II –高速 CD→MD **再生が始まってから押す**

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると、自動停止します。

別売機器から MD・テープに録音

●一般的なポータブル MD プレーヤー
●カセットデッキなど

1 リモコン P-MD/AUX **押して"AUX"を選ぶ**

– – – – AUX – – – –

押すたびに AUX ⟷ P-MD

2 リモコン **録音レベルを確認する**
別売機器のヘッドホン端子と接続しているときは、別売機器を再生させ、レベル表示が、時々端まで点灯する程度に、別売機器の音量を調節してください。

レベル表示 – 《《《《《 ♪ 》》》》》

P-MD/AUX **押したままにして、入力レベルを選ぶ**

ノーマル ：信号レベルが通常の機器
↕
ハイ ：ポータブル MD など信号レベルが低い機器

3 **押す**

4

① **回して"ロクオン（REC）モード"を選び**

ロクオン (REC) モード

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **回して、録音モードを選び**
（➡ 左ページ「録音モードについて」）
④ **[決定（ENTER)] を押す**

5 MD ●/II –高速 CD→MD **押す**

- **シンクロ ロクオンモード**のときは、一時停止状態になります。別売機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。
- **ターンバック ロクオン**または**ターン/タイムマークモード**のときは録音待機状態になります。もう 1 度［MD ●/II –高速 CD → MD］を押してください。

6 **別売機器を再生する**

本機のテープに録音する

① 手順 **2** までを行う。
② ［テープ ●/II］を押す。
③ 別売機器を再生する。

MD ネットワークで録音する

お願い

操作中は MD ネットワークコードを抜かないでください。

お知らせ

- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使うこともできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、ディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能でグループ名はコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。（点滅表示になります。再び通信確立するには、リモコンの [P-MD/AUX] を押してください）

別売機器から録音する

お知らせ

- シンクロ ロクオンモードでは音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合はシンクロ ロクオンモードを使用せずに録音し、後から曲分割機能（➡ 35 ページ）などで編集してください。
- マイクを接続すると、シンクロ ロクオンモードで正しく動作しないことがあります。
- シンクロ ロクオンモードでは一時停止できません。

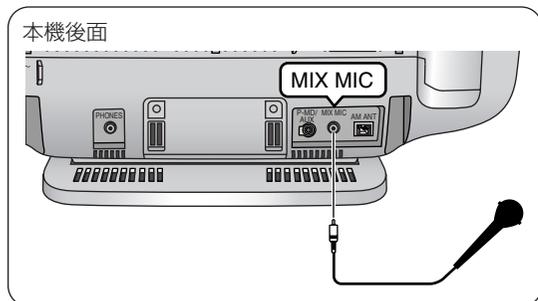
別売品の品番は、2008 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

マイクを接続する

① 電源を入れる。
② 音量を下げ、本機後面の MIX MIC 端子にマイクを接続する。（スイッチ付きマイクのときは ON にする）

マイク

- プラグタイプ：ø3.5 mm モノラルミニプラグ
- 推奨品：RP-VK45（別売）

本機後面

カラオケを楽しむ

① CD またはテープ、ラジオ、MD、別売機器（AUX 入力）を再生する。
② カラオケを始め、マルチ JOG を回して、本機の音量を調節する。

拡声器として使う

① [■]を押して、“CD”、“MD” または “テープ” を選ぶ。
② マルチ JOG を回して、本機の音量を調節する。

録音する

お願い

CD から MD へマイクを使ってミキシング録音するときは、はじめにマイクを接続してください。自動的にアナログ録音に切り換わります。
録音中にマイクを接続してもマイクの音は録音されません。

準備

- 録音用 MD またはテープを入れる。
- 必要に応じて MD の録音時間（LP モード）を選ぶ。（➡ 25 ページ）
- 必要に応じてテープの再生モードを選ぶ。（➡ 27 ページ）

カラオケを録音する（マイクミキシング）

① CD を入れ、[■] を押して “CD” を選ぶ。
② [❙◀◀/巻戻し/−] または [+/早送り/▶▶❙] を押して好みの曲を選ぶ。
③ MD に録音する場合は [MD ●/❚❚ −高速 CD → MD] を押す。
テープに録音する場合は [テープ ●/❚❚] を押す。

マイクの音だけを録音する

① [■]を押して、MD に録音する場合は “MD” をテープに録音する場合は “テープ” を選ぶ。
② MD に録音する場合は [MD ●/❚❚ −高速 CD → MD] を押す。
テープに録音する場合は[テープ ●/❚❚]を押す。

お知らせ

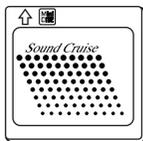
- 音声多重の CD やテープを使っても、歌手の声を消すことはできません。
- マイクの録音中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- P-MD モードまたは AUX モード（➡ 49 ページ）で入力レベルを “ハイ” にした場合は、マイクを使用できません。
- MD 再生中のレベルメーターにはマイク入力の信号は含まれません。
- マイクを使わないときは、マイクのプラグを抜いてください。（マイクを接続していると、CD から MD への録音はアナログになります。）
- CD 高速録音（➡ 30 ページ）でマイクミキシングはできません。
- マイクの録音レベルは変更できません。

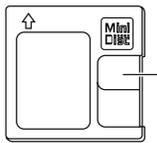
MD について

MD の種類

■演奏専用 MD

録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

- 本機は、Hi-MD には対応していません。

MD の録音・編集について

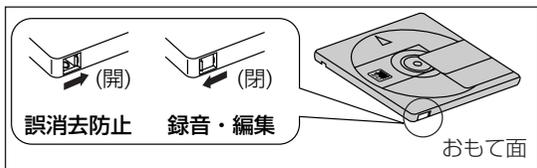
■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー” の禁止。）またこのような制限がある CD から MD へのデジタル録音もできません。
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC カキコミチュウ” の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される “区切り” のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

■TOC（トック）(Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

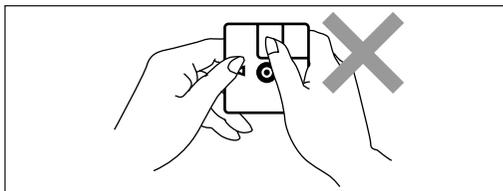
■UTOC（ユートック）(User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC カキコミチュウ” と表示され注意を促します。

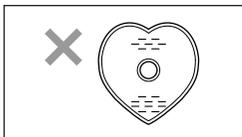
■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります。)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては録音や再生を保証しておりません。DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

■CD-R と CD-RW の再生について

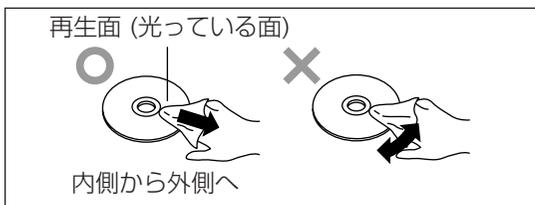
CD-DA フォーマットで記録された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

取扱上のお願い

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

テープについて

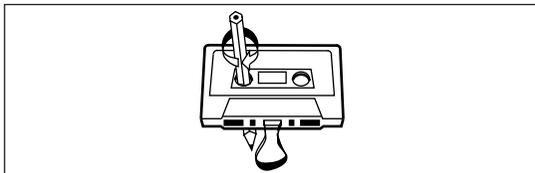
■100 分を越えるテープ

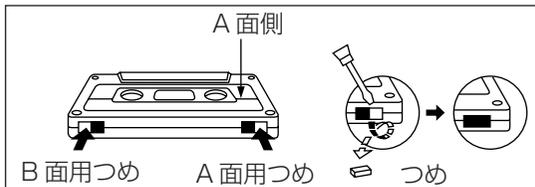
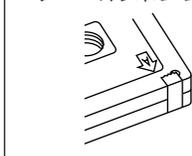
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■録音を消して無音テープを作るには

① 電源を入れ、録音済みテープを入れる。
② [■] を押して、“テープ” を選ぶ。
③ リモコンの [プレイモード] を押して、再生モードを選ぶ。
④ 本体の [テープ ●/❚❚] を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール (特に厚みのあるシール) を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

保管(CD・MD・テープ)

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本機が汚れたら

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■CD・MDを良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：

CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）

MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：

(社) 私的録音補償金管理協会（sarah）

住所：東京都千代田区麹町 1-8-14 麹町 YK ビル 2 階

Tel ： 03-3261-3444

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 5321-9530	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321-9881	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

主な仕様

ラジオ

受信周波数	
FM	：76.0 ～ 90.0 MHz TV 1ch ～ 3ch
AM	：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

MD デッキ

記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	：44.1 kHz
圧縮/伸張方式	：ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）

テープレコーダー

トラック方式	：ステレオ
録音方式	：交流バイアス
消去方式	：交流消去
モニター方式	：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲	
ノーマルポジション	：70 ～ 15000 Hz（JEITA）

CD プレーヤー

サンプリング周波数	：44.1 kHz
量子化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DA コンバーター	：MASH（1 ビット DAC）

共通

スピーカー	：7 cm/6 Ω フルレンジ 2 個
入力端子	
MIX MIC	：ø3.5 mm （適合マイクインピーダンス 200 ～ 600 Ω）
P-MD/AUX	：ø3.5 mm (STEREO)
P-MD	：−21 dBV
AUX	：−8 dBV
出力端子	
PHONES	：ø3.5 mm (STEREO) （適合ヘッドホンインピーダンス 16 ～ 64 Ω）
実用最大出力	：6 W（3 W+3 W）（JEITA）
電源	：AC100 V、50/60 Hz
消費電力	：22 W
最大外形寸法 （幅 × 高さ × 奥行）	：431 mm × 180 mm × 272 mm（JEITA）
質量	：約 4.8 kg

電源切時の消費電力：約 0.8 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	48
	有線放送をつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。	48
MD	MD ネットワークとは？	MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーから、本機の MD に録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（再生専用 MD のタイトルはコピーできません）	48
	長時間ステレオ録音をしたい	LP モード 2 倍/ 4 倍の設定をしてから録音します。	25
	MD の残り時間を知りたい	MD 停止中にリモコンの [表示切替] を数回押して “MD ノコリ” を表示させます。	47
	録音した曲に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲を消してから録音してください。	37
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	—
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に “LP:” と表示され、無音で再生されます。	—
	長時間ステレオ録音した曲の再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	—
	LP2、LP4 で録音された MD は、音質が悪くなる？	LP4 では、ごくまれに雑音が録音されることがあります。標準時間録音（LP モード OFF）または LP2 録音をおすすめします。	24
	高速録音すると音質は悪くなる？	高速録音しても音質には影響ありません。	—
	ディスクタイトルが正しく表示されない	本機でグループ編集を行った MD を、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	—
その他	別売機器（AUX）からの出力が小さいが？	推奨のコードをお使いください。	48
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。 ラジオの地域選択を設定し直してください。	22
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも１つの方法です。	47

こんな表示が出たら

表　示	意 味 または 処 理
ジコクヲ アワセテクダサイ	時計を合わせてください。
タイマージコクヲ セッテイシテクダサイ	タイマーの時刻を設定してください。
ブランク ディスク	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済みの MD を入れてください。録音はそのまま行えます。
ヘンシュウ デキマセン	再生中のタイトル入力後、MD 編集はできません。プログラム、ランダム、グループ設定中は MD の編集やタイトル入力できません。各設定を解除してから編集操作を行ってください。
キロク デキマセン	コピー元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
ジコクヲカエテクダサイ	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
ディスク フル	MD の空き時間が足りません。
ゴショウキョボウシ、ジョウタイ デス（交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。 録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
ロード エラー、トリダシテクダサイ（交互に表示）	[▲ MD] を押して、MD を取り出してください。挿入方向とシャッターが閉じていることを確認して、再度入れてください。
ロクオン、イジョウデス（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
エラー	操作が違います。
グループ データ フル	MD の領域が足りません。タイトルを短くするか、消去してください。
ケツゴウ デキマセン	曲結合できません。（MD の記録方式上の制約です。）
ブンカツ デキマセン	曲分割できません。（MD の記録方式上の制約です。）
キョクガ ミツカリマセン	タイトルサーチで検索したが該当する曲が見つかっていません。もう 1 度 [タイトルサーチ] を押して別の曲名を入力して検索してください。
サイセイセンヨウ MD デス	再生専用 MD のため、録音や編集はできません。
P-MD エラー	ポータブル MD との通信エラーです。再度リモコンの [P-MD/AUX] を押してください。
P-MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。再度リモコンの [P-MD/AUX] を押してください。
ロクオン エラー	録音中に異常が発生しました。表示中は、音声は録音されていません。
ロクオンデキナイ キョク、アナログニシテクダサイ（交互に表示）	ビデオ CD、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。SCMS（➡ 51 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。デジタルでは録音できませんので録音モードを“アナログ ロクオン?”（➡ 24 ページ）に切り換えてください。
コレイジョウエラベマセン	これ以上トラックを選べません。
ゴショウキョボウシ、ジョウタイ デス（交互に表示）	テープのつめが折れているため録音できません。 録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープなどを貼ってください。
タイトル フル（約 2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約 100 文字までです。
タイトル オーバー	タイトルを書き込むだけの空きがない状態でまとめてタイトルを入力しようとしました。録音または再生が終了して“UTOC カキコミチュウ”の点滅後に続きを入力してください。
TOC エラー	MD の読み取りに問題のある可能性があります。 電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。MD を取り替えてください。
TOC ヨミコミチュウ	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
キョクスウガ、イッチシマセン（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
トラック xxx、ホゴサレテイマス、サクジョシテイイデスカ（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。 消去することはできます。
UTOC フル	MD に情報を書き込める余白がありません。 不要なタイトルや曲を消去してください。（UTOC フルの状態では曲分割もできません。）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
表示部	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いています。	デモ機能を「切」にしてください。 時計を合わせてください。	2、42
システム全体に共通	音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を調節してください。	10
		ヘッドホンを接続していませんか。	ヘッドホンをはずしてください。	47
	設定時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。	おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	43、45
		“◴PLAY、◴REC、SLEEP、ALARM”が表示していますか。	おめざめ、留守録、おやすみ、アラームの各タイマーのタイマー実行設定を行って表示させてください。	43～46
	電源「切」に時計が表示されない。		時計を合わせてください。	42
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	電源プラグを長期間抜いていませんか。	再度設定してください。 メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	46
	表示が出ない。	電源コードを正しく接続していますか。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでください。	7
CD	再生できない。 CDを入れても、曲数などが表示されない。	CDが裏表逆になっていませんか。	ラベル面を上にして入れてください。	11
		規格外のCDを使用していませんか。	規格に合致したCDと取り替えてください。	52
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用してください。	–
	特定の箇所が再生できない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふいてください。	52
	CDの音がとぶ。 CDを録音すると音がとぶ。	CDの裏面に傷や指紋が付いていませんか。	指紋は柔らかい布でふいてください。 傷が付いている場合は、CDを交換してください。	52
	高速録音すると本機が振動する。		故障ではありません。 CDの種類によっては、本機が振動する場合があります。	–
ラジオ	うまく受信できない。 雑音やひずみが多い。	FMホイップアンテナを調節しましたか。	FMホイップアンテナの長さや向きを変えてください。	21
		AMループアンテナを接続していますか。	AMループアンテナの向きや位置を変えてください。 AMループアンテナを本体から離してください。	7、21
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源を切ってください。	–
		送信所が遠くありませんか。	送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。窓際など、条件の良い場所に設置してください。	21
		アンテナのコードが電源コードに接近していませんか。	アンテナのコードと電源コードを離してください。	–
	テレビ放送が受信できない。	ラジオがAMバンドになっていませんか。	テレビは1～3チャンネルの音声のみFMバンドで受信可能です。	–
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃してください。	53
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	52

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
MD	再生または録音できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用してください。	–
		再生専用のMDに録音しようとしていませんか。	録音用MDを入れてください。	51
		誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください。	
		すでに録音された時間または曲数(上限254曲)がいっぱいになっていませんか。	不要な曲があれば消してから録音してください。(MDは、たとえ1秒の録音でも、約2秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、再生側の時間表示より録音時間が少し長くなります。)	51
	MDを入れても曲数などが表示されない。	MD以外のモード(CD、ラジオなど)になっていませんか。	[■]を押して"MD"に切り換えてください。	–
		MDが破損しているかもしれません。	別のMDで確認してみてください。	
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。(文字数には制限があります。)	文字数の少ないタイトルに付け直してください。	41
	MDを入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直してください。	–
	曲結合や曲分割ができない。また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去をくり返していませんか。	録音データがしだいに細かく分断されていくため左記のような状態になることがあります。(MDの記録方式上の制約です。)この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	–
			録音モード(LP モードOFF/LP2/LP4/モノラル長時間)の異なる曲は、1曲にまとめることができません。	–
	MDの操作ができない。	一時的に内部回路で不具合が起きた可能性があります。	電源を切/入してから操作してください。異常が再発するときは販売店にご相談ください。	–
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	39
	ディスクタイトルが正しく表示されない。		本機でグループ編集を行ったMDを、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	–
	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4モードで録音された曲をつないだり、分けたりすると、つないだ部分や分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れてください。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換してください。	

メモリーのリセット(初期化)

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット(初期化)してください。

- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再度設定したい。

● メモリー内容をリセット(初期化)するには

① 電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の[**電源**⏻/I]を押したまま
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に"------------"が表示されたら
④ [**電源**⏻/I]を離す

● メモリーをリセット(初期化)すると

- 高速録音は約74分間経過しないとできません。
- 時計、放送局などは再度設定が必要です。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年
当社は、このパーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
56 ～ 57 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	パーソナル MD システム
品　番	RX-MDX83
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
パナソニック 修理ご相談窓口
ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**
- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
パナソニック お客様ご相談センター
365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	(025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	(059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0608

さくいん

愛情点検

長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	RX-MDX83
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTX0168-1S
H0708FS2098